

2021年11月期 決算短信 (REIT)

2022年1月20日

不動産投資信託証券発行者名 大江戸温泉リート投資法人 上場取引所 東
 コード番号 3472 U R L <https://oom-reit.com/>
 代表者 (役職名) 執行役員 (氏名) 今西 文則

資産運用会社名 大江戸温泉アセットマネジメント株式会社
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今西 文則
 問合せ先責任者 (役職名) 企画管理部長 (氏名) 西別府 好美
 TEL 03-6262-5456 (IR専用)

有価証券報告書提出予定日 2022年2月25日 分配金支払開始予定日 2022年2月8日

決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年11月期の運用、資産の状況 (2021年6月1日~2021年11月30日)

(1) 運用状況

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期	1,344	△0.3	589	△0.7	393	△14.5	392	△14.5
2021年5月期	1,348	△0.8	593	△0.1	460	△1.6	459	△1.6

	1口当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収益 経常利益率
	円	%	%	%
2021年11月期	1,667	1.9	1.1	29.3
2021年5月期	1,951	2.2	1.2	34.1

(2) 分配状況

	1口当たり分配金 (利益超過分配金 は含まない)	分配金総額 (利益超過分配金 は含まない)	1口当たり 利益超過 分配金	利益超過 分配金総額	1口当たり分配金 (利益超過分配金 を含む)	分配金総額 (利益超過分配金 を含む)	配当性向	純資産 配当率
	円	百万円	円	百万円	円	百万円	%	%
2021年11月期	1,668	392	18	4	1,686	396	100.0	1.9
2021年5月期	1,952	459	18	4	1,970	463	100.0	2.2

(注1) 利益超過分配金総額は、全額、一時差異等調整引当額に係るものです。

(注2) 配当性向は、小数第1位未満を切り捨てて記載しています。

(3) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1口当たり純資産
	百万円	百万円	%	円
2021年11月期	36,926	21,021	56.9	89,320
2021年5月期	37,122	21,092	56.8	89,622

(4) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年11月期	934	△104	△711	1,150
2021年5月期	948	△165	△672	1,031

2. 2022年5月期の運用状況の予想（2021年12月1日～2022年5月31日）及び2022年11月期の運用状況の予想（2022年6月1日～2022年11月30日）

（％表示は対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1口当たり分配金 （利益超過分配金 は含まない）	1口当たり 利益超過 分配金	1口当たり分配金 （利益超過分配金 を含む）
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	円	円
2022年 5月期	1,285	△4.3	534	△9.3	369	△6.0	368	△6.0	1,567	18	1,585
2022年11月期	1,255	△2.3	521	△2.4	378	2.3	377	2.3	1,602	18	1,620

（参考）1口当たり予想当期純利益（予想当期純利益÷予想期末投資口数）（2022年5月期）1,567円、（2022年11月期）1,602円

※ その他

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済投資口の総口数

① 期末発行済投資口の総口数(自己投資口を含む)	2021年11月期	235,347口	2021年5月期	235,347口
② 期末自己投資口数	2021年11月期	0口	2021年5月期	0口

（注）1口当たり当期純利益の算定の基礎となる投資口数については、28ページ「1口当たり情報に関する注記」をご覧ください。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 特記事項

本資料に記載されている運用状況の見通し等の将来に関する記述は、本投資法人が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の運用状況等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、本予想は分配金の額を保証するものではありません。運用状況の予想の前提条件については、6ページ「2022年5月期及び2022年11月期の運用状況の見通しの前提条件」をご覧ください。

以上

目次

1. 運用状況	2
(1) 運用状況	2
① 当期の概況	2
② 次期の見通し	4
③ 決算後に生じた重要な事実	5
(2) 投資リスク	10
2. 財務諸表	11
(1) 貸借対照表	11
(2) 損益計算書	13
(3) 投資主資本等変動計算書	14
(4) 金銭の分配に係る計算書	15
(5) キャッシュ・フロー計算書	16
(6) 継続企業の前提に関する注記	17
(7) 重要な会計方針に係る事項に関する注記	17
(8) 会計方針の変更に関する注記	17
(9) 財務諸表に関する注記事項	19
(10) 発行済投資口の総口数の増減	28
3. 参考情報	29
(1) 運用資産等の価格に関する情報	29
① 投資状況	29
② 投資資産	29
(2) 資本的支出の状況	42
① 資本的支出の予定	42
② 期中の資本的支出	42

1. 運用状況

(1) 運用状況

① 当期の概況

a. 投資法人の主な推移

大江戸温泉リート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、投資信託及び投資法人に関する法律（昭和26年法律第198号。その後の改正を含みます。）に基づき2016年3月29日に設立され（出資額200百万円、発行口数2,000口）、2016年5月13日に関東財務局への登録が完了しました（登録番号関東財務局長第119号）。

その後、「安定収益と継続的成長を見込むことができる大江戸モデル（注1）が導入された温泉・温浴関連施設への重点投資」とスポンサーである「大江戸温泉物語グループ（注2）からのサポートを最大限活用した成長戦略」を基本方針に、2016年8月30日を払込期日として公募による新投資口の発行（174,200口）を行い、2016年8月31日に株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）不動産投資信託証券市場に上場（銘柄コード：3472）、2016年9月1日に温泉・温浴関連施設（注3）9物件（取得価格（注4）の合計26,844百万円）を取得しました。第4期には、公募による新投資口の発行（56,330口）等により、温泉・温浴関連施設5物件（取得価格の合計9,861百万円）を追加取得しました。第9期には、「大江戸温泉物語 レオマリゾート」の土地の一部を譲渡すると同時に譲渡先から譲渡部分を賃借しました。その結果、当期末現在の本投資法人が保有する施設の合計は14物件（取得価格の合計36,082百万円）、当期末現在における本投資法人の発行済投資口の総口数は235,347口となっています。

(注1)「大江戸モデル」とは、大江戸温泉物語グループが運営する施設に導入されている、高収益・安定稼働を維持することを可能にする、大江戸温泉物語グループが保有する競争力が高いと考えられる事業ノウハウをいいます。以下同じです。

(注2)「大江戸温泉物語グループ」は、本投資法人のスポンサーである大江戸温泉物語ホテルズ&リゾート株式会社及び大江戸温泉物語株式会社（以下「スポンサー」といいます。）並びにその連結子会社（財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和38年大蔵省令第59号。その後の改正を含みます。）第8条第3項に規定する子会社をいい、本資産運用会社を含みます。）で構成されます。以下同じです。

(注3)「温泉・温浴関連施設」とは、温浴施設（温泉（地中から湧出する温水、鉱水及び水蒸気その他のガス（炭化水素を主成分とする天然ガスを除きます。）をいいます。以下同じです。）その他を使用して公衆を入浴させる施設をいいます。以下同じです。）及び温浴施設をその中心的な用途の1つとして含む旅館（和式の構造及び設備を主とする宿泊施設をいいます。以下同じです。）、ホテル（洋式の構造及び設備を主とする宿泊施設をいいます。以下同じです。）その他の宿泊の用に供され、又は供されることが可能な施設、並びに、リゾート施設（余暇等を利用して行うスポーツ、レクリエーション等の活動の機会を提供する施設をいいます。以下同じです。）及びアミューズメントパークその他の余暇活用型施設（これらの複合用途を含みます。）等、温泉又は温浴の提供をその施設の主要な機能の1つとする施設をいいます。なお、温泉又は温浴を提供している建物等のみでなく、それらに隣接又は一体として運営されている建物及び敷地等も含めて、物件全体として温泉・温浴関連施設とします。以下同じです。

(注4)「取得価格」は、売買契約書に記載された各物件の売買代金（消費税及び地方消費税並びに売買手数料等の諸費用を含みません。）の百万円未満を切り捨てて記載しています。ただし、「大江戸温泉物語 レオマリゾート」については、2020年11月2日付で土地の一部を譲渡すると同時に譲渡先から譲渡部分を賃借しているため、「取得価格」については、取得時点における同物件に係る売買契約に記載された各不動産の売買代金（消費税及び地方消費税並びに売買手数料等の諸費用を含みません。）から譲渡時点における当該譲渡部分に係る帳簿価格相当額を控除し、譲渡部分の賃借権の設定に係る賃貸借契約に記載された、賃借権の設定の対価としての権利金の額を加えた額を記載しています。

b. 投資環境と運用実績

当期の我が国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症の影響継続に伴い2021年4月に大都市圏を中心に緊急事態宣言が再発出されたこと及びその後の同感染症対策の影響を大きく受けました。その後、新規感染者の大幅な減少と、ワクチン接種率の上昇等を受け、2021年10月から緊急事態宣言が解除されたため、ホテル・旅館全体の足元稼働率には改善傾向が見られています。

本投資法人の一部保有施設は、2021年6月は週末のみの営業となりましたが、同年7月には徹底した感染防止対策のもと全館稼働再開いたしました。これまで抑制されていたメインの顧客である高齢者層の動きも、緊急事態宣言解除、感染防止対策の周知及びワクチン2回目接種完了者の増加等により、徐々に回復の傾向が見られました。

このような環境の中、当期における全体の客室稼働率（注1）は50.7%となり、ADR（注2）、RevPAR（注3）及び売上高の当期実績は前年同期の実績に対しそれぞれマイナス10.4%、マイナス12.5%、マイナス12.4%となりました。当期の本投資法人の変動賃料は、テナントである大江戸温泉物語グループの2021年8月までの年間業績に基づき算定されるため、当該期間の稼働の低下を受け全施設について前期に続き当期も未発生となりましたが、総賃料に占める構成比の高い固定賃料は満額収受いたしました。

当期末に取得した鑑定評価額は、合計で40,129百万円となりました。前期末に取得した鑑定評価額との比較では、還元利回りについては変動がありませんでしたが、一部の施設の資本的支出の想定額見直しによる将来キャッシュ・フローの低下により80百万円の低下となりました。当期末におけるポートフォリオ全体の含み損益（注4）については、当該14物件の減価償却により含み益が増加し5,829百万円となりました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響下、キャッシュマネジメントの観点から一部実施繰り延べ可能な資

本的支出の延期等支出の抑制に努めながら、テナントによる必要な修繕の実施を管理するとともに、保有物件の状況及び特性等を考慮した資本的支出に関する計画に基づいて、機能維持に必要な資本的支出を実施しました（賃貸借契約に基づき修繕費は原則テナント負担となっています。）。

さらに、大江戸温泉物語グループの運営物件にとどまらず、新型コロナウイルス感染症の収束や資金調達環境の改善後を想定して、広くマーケットからの新規物件の取得活動、情報の収集を継続的に行っています。

(注1)「稼働率」とは、賃貸可能面積に対して賃貸面積が占める割合をいい、「客室稼働率」は、以下の計算式により求められる数値をいいます。

客室稼働率＝対象期間中の販売客室数÷対象期間中の販売可能客室数×100（％）

(注2)「ADR」とは、平均客室販売単価（Average Daily Rate）をいい、一定期間の宿泊売上高合計を同期間の販売客室数（稼働した延べ客室数）合計で除した値をいいます。

(注3)「RevPAR」とは、1日当たり販売可能客室数当たり宿泊売上高合計（Revenue Per Available Room）をいい、一定期間の宿泊売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除した値です。

(注4)「含み損益」は、以下の計算式により求められる数値をいいます。

含み損益＝保有資産の当期末時点での鑑定評価額の合計－貸借対照表計上額の合計（建物附属設備、構築物、機械及び装置、工具、器具及び備品並びに借地権を含みます。）

c. 資金調達の概要

当期においては、2021年8月31日を返済期日とする短期借入金3,472百万円、1,449百万円及び240百万円の返済原資の一部に充当するため、株式会社三井住友銀行をアレンジャーとする協調融資団から短期借入により4,904百万円、株式会社三井住友銀行から短期借入により230百万円の資金調達（注1）を行いました。また、2021年11月30日を返済期日とする長期借入金2,190百万円の返済原資に充当するため、株式会社三井住友銀行をアレンジャーとする協調融資団から短期借入により2,190百万円の資金調達（注2）を行いました。さらに、手元資金により2021年7月末日及び10月末日に各々87百万円の約定返済を実施しました。その結果、当期末時点での有利子負債総額は14,069百万円、総資産に占める有利子負債の割合（以下「LTV」といいます。）は38.1%となっています。加えて、本投資法人の今後の円滑な資金調達を中心とする財務運営におけるリスクへの対応、具体的には当面の借入金の借換えの完遂を最優先し、2021年11月30日に自発的に保有資産を担保提供しました（注3）。

(注1) 詳細は2021年8月24日付公表の「資金の借入れに関するお知らせ」をご参照ください。

(注2) 詳細は2021年11月25日付公表の「資金の借入れに関するお知らせ」をご参照ください。

(注3) 詳細は2021年11月25日付公表の「担保権設定に係る契約締結に関するお知らせ」をご参照ください。

d. 業績及び分配の概要

上記の運用の結果、当期の業績は、営業収益1,344百万円、営業利益589百万円、経常利益393百万円、当期純利益392百万円となりました。

当期の分配金につきましては、本投資法人の規約に定める分配の方針に基づき、租税特別措置法（昭和32年法律第26号。その後の改正を含みます。）（以下「租税特別措置法」といいます。）第67条の15第1項に規定される本投資法人の配当可能利益の額の100分の90に相当する金額を超えて分配することとし、投資口1口当たりの利益分配金（利益超過分配金は含みません。）を1,668円としました。

これに加えて、本投資法人の規約に定める利益を超えた金銭の分配の方針に基づき、資産除去債務に係る利息費用の計上及び資産除去債務に対応する建物帳簿価額に係る減価償却費の計上並びに借地権償却費に係る所得超過税会不一致（投資法人の計算に関する規則（平成18年内閣府令第47号。その後の改正を含みます。）（以下「投資法人計算規則」といいます。）第2条第2項第30号（イ）に定めるものをいいます。）が分配金に与える影響を考慮して、一時差異等調整引当額（投資法人計算規則第2条第2項第30号に定めるものをいいます。）の分配を4,236,246円行うこととし、投資口1口当たりの利益超過分配金を18円としました。

この結果、当期の投資口1口当たり分配金は、1,686円（うち、投資口1口当たりの利益超過分配金18円）としました。

② 次期の見通し

a. 次期の運用環境

我が国の経済は、2021年10月から主要都市部における緊急事態宣言が解除されてから、新型コロナウイルス新規感染者数の減少傾向が続き、同感染症対策のもとワクチン接種率の上昇や治療薬の開発、承認の動きもあることから、これまで抑制されてきた人の流れも都道府県内や近隣都道府県からの旅行など、回復の動きが見られています。一方で、2022年に入りオミクロン株等の変異株感染拡大も見られ、3回目接種なども含めワクチンの効果や既存の治療薬の有効性等が確認されつつありますが、なお不確実性が残り、本格的な回復に至るまで一進一退の状況が続くと本投資法人は考えています。

このような環境の中、本投資法人の投資対象である余暇活用型施設（注1）が立脚している「コト消費」（注2）、特により限定的に「体験型消費」（注3）の動向については、変異株その他の新型コロナウイルス新規感染者数の動向や、ワクチン接種率の上昇だけでなく、消費者のマインドが特に大きく影響すると考えており、3回目のワクチン接種の動向やその効果についても注視が必要です。

本投資法人の保有施設におけるテナント業績は、2021年10月以降の新型コロナウイルス新規感染者数の減少に加え、都道府県の各種割引プランの後押しもあり、施設利用の回復、及び「大江戸モデル」がメインターゲットとしている近隣固定客の回帰の動きが2021年12月までの稼働率に見られ、変異株を中心とした新型コロナウイルス感染症の再拡大による悪影響には留意が必要な一方で、今後のさらなる需要回復の可能性もあるものと本投資法人は考えています。

保有施設の異動については、2022年1月13日付で「大江戸温泉物語 長崎ホテル清風」を譲渡しました（注4）。売却手取り金の一部については既存借入金の返済に充当、残額については今後の財務基盤の安定化、物件取得やバリューアップに資するCAPEX（注5）等に充当することで、投資主価値の安定強化を図ってまいります。

（注1）「余暇活用型施設」とは、消費者に対し「愉しみ」、「コミュニケーション」、「癒しとリラクゼーション」、「健康と知的な充実」など、現代人が求める余暇活用と充実した時間の過ごし方を提供する施設をいいます。以下同じです。

（注2）「コト消費」とは、個別の事象が連なった総体である「一連の体験」を目的とした消費活動をいいます。

（注3）「体験型消費」とは、経験・体験そのものを目的とした消費活動をいいます。

（注4）詳細は2021年12月24日付公表の「国内不動産の譲渡に関するお知らせ（大江戸温泉物語 長崎ホテル清風）」及び「借入金の一部期限前弁済に関するお知らせ」をご参照ください。

（注5）「CAPEX」の定義については、後記「b. 今後の運用方針及び対処すべき課題（b）内部成長戦略 ii. 収入増や競争力強化に資する戦略的CAPEX」をご参照ください。

b. 今後の運用方針及び対処すべき課題

本投資法人は、余暇活用型施設に特化したポートフォリオの構築を目指していますが、当面は新型コロナウイルス感染症の影響継続によるテナント業績の悪化がもたらす収益面、財務面のリスクへの万全な対応を最優先し、この危機を切り抜けることで今後の外部環境の改善時には機動的な成長戦略を打ち出せるよう努めていきます。

（a）外部成長戦略

i. スポンサー・パイプラインの活用

温泉・温浴関連施設の供給面を俯瞰すると、新型コロナウイルス感染症の拡大と長期化に伴う業績の悪化による閉鎖や生き残りのための資金調達を目的とする売却なども見込まれ、本投資法人や大江戸温泉物語グループへの持込み案件数も比較的多い傾向で推移するものと考えられます。本投資法人には、2017年11月1日付でスポンサーとの間で締結したスポンサーサポート契約に基づき、大江戸温泉物語グループが保有又は開発する温泉・温浴関連施設の取得に係る優先交渉権が付与されており、また同グループが入手した第三者による物件売却情報の優先的提供が行われることから、これらを最大限活用することにより、主として大江戸温泉物語グループが保有し運営する大江戸モデルが導入された温泉・温浴関連施設の中から本投資法人の投資基準に合致した物件を継続的に取得する方針です。

ii. 資産運用会社独自のネットワークの活用によるスポンサー抛出物件以外の物件の取得

本投資法人が投資法人規約に定める余暇活用型施設（注）については、ライフスタイルの多様化に対応した施設の供給は未だ不足していると考えており、一方で中長期的には構造的な余暇活用拡大の流れや、グローバルな人の動きが変化することはなく、益々拡大する傾向にあると考えています。

その中で、本資産運用会社独自のネットワークの活用により、新型コロナウイルス感染症拡大の中においても安定稼働実績のある余暇活用型施設に関する売却情報も入手されており、新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえた市場変化への対応も見据えた宿泊業やレジャー業界の新しい動きや変化を見極めつつ、有名温泉地の温泉・温浴関連施設等に加えて、現状ポートフォリオのバランスの改善とリスク分散に寄与する、政令指定都市や中核都市等の都市型立地物件、新規開発物件や築浅物件、新型コロナウイルス感染症収束後のインバウンド需要を捉え得る多様な施設の取得に向けて活動していきます。また、本投資

法人の資金調達環境の改善と資金調達の機会を待ちつつ、当面はブリッジストラクチャーの活用等による優先交渉権の確保を中心に取得活動を進めていきます。

(注) 本投資法人の規約に定める投資対象は、旅館、ホテルその他の宿泊の用に供され、又は供されることが可能な施設、並びに、温浴施設、リゾート施設及びアミューズメントパークその他の余暇活用型施設、並びにこれらの複合施設です。

(b) 内部成長戦略

i. 安定性を重視した賃料ストラクチャー

本投資法人は、保有資産のテナントである大江戸温泉物語グループ各社との間で締結している長期賃貸借契約において、固定賃料部分を主としつつ、GOP（注1）に連動した変動賃料部分を組み合わせた第一賃料に、各施設の不動産運営費相当額となる第二賃料を加えた賃料体系を採用し（注2）、かつ修繕費は原則テナント負担とすることで、キャッシュ・フローの安定性を長期的に確保しつつ、各施設の運営実績が良好な時期にはGOPに連動した賃料収入のアップサイドを享受追求することを可能としています。当期の実績並びに2022年5月期及び11月期の予想については、新型コロナウイルス感染症の影響によるテナントの稼働率低下のため、変動賃料はゼロという実績及び予想となっておりますが、当面は足元の危機を乗り越り固定賃料を確保することに最大限注力するとともに、今後の変動賃料の復活に向けてテナント業績と賃料支払能力についてのモニタリングを継続し、賃料収入の安定性確保に万全を期してまいります。

(注1) 「GOP」とは、売上高営業粗利益をいい、各施設の売上高から、人件費、一般管理費等の、各施設の運営に関して直接発生した費用を控除した残額をいいます。以下同じです。

(注2) 各保有資産に係る賃貸借契約においては、かかる賃料体系が採用されていますが、本投資法人が今後取得する施設に係る賃貸借契約において、同様の賃料体系が採用されることを保証するものではありません。

ii. 収入増や競争力強化に資する戦略的CAPEX（注）

本投資法人は、資産価値向上が見込まれる潜在的余地のある保有物件に対しては、客室数増加を目的とした増改築等のバリューアップに資するCAPEXを実施し、保有資産のオペレーターの潜在的な収入確保を図ることや、敷地内の未稼働建物や未使用土地の有効活用による賃料収入の増加を中長期的に目指しています。また、温泉・温浴関連施設における付加価値向上のノウハウを有する大江戸温泉物語グループとの協働により、テナントの各種の施設競争力向上策に協力し、各種イベント等の集客向上策に対して所有者の立場で積極的に関わっていくことで、テナント収益の拡大を通じた変動賃料の増加を図ります。

(注) 「CAPEX」は、Capital Expenditure（資本的支出）をいい、不動産を維持するための修繕費用ではなく、不動産及び設備の使用可能期間の延長又は資産価値の増加を目的とした支出をいいます。

(c) 財務戦略

本投資法人は、新型コロナウイルス感染症の影響によるテナント業績への影響とそれに伴う賃料収入に関するリスクを把握し、本投資法人の円滑な資金調達達成のためのリスクへの対応、具体的には当面の借入金の借換えの完遂を最優先し、保守的なLTVコントロールとキャッシュマネジメントによる財務基盤の維持を重視していきます。

中長期的な方針として、デット・ファイナンスについては、適時適切な情報提供に基づく十分なコミュニケーションにより既存借入先との良好な関係を維持しつつ、新規物件取得時や既存借入の返済期限到来時の安定的な資金調達の実現を図り、エクイティ・ファイナンスについては、投資口の中長期的な価値向上、並びに1口当たり分配金の希薄化に配慮し、機動的に実施を検討していきます。

LTV水準は、原則として60%を上限としながら、当面、特に新型コロナウイルス感染症の影響下は資金余力の確保に留意して40%程度以下を目安とし、保守的な水準を維持していく方針です。さらに中長期的にはポートフォリオの規模拡大とテナントや立地等のリスク分散の推進によりリスクプレミアムの低下を図り、金融コストの低減とともに、高格付けの取得や調達手段の多様化、負債の平均年限の長期化や固定金利の導入などを目指します。

③ 決算後に生じた重要な事実

資産の譲渡

本投資法人は、以下の資産を2022年1月13日付で譲渡しました。

譲渡資産の名称	大江戸温泉物語 長崎ホテル清風
譲渡価格	1,640百万円
契約日	2022年1月7日
譲渡日	2022年1月13日
譲渡先	譲渡先から承諾を得られていないため非開示
損益に及ぼす影響	第12期（自 2021年12月1日 至 2022年5月31日）において、不動産等売却益約11百万円を計上する予定です。

2022年5月期及び2022年11月期の運用状況の見通しの前提条件

項目	前提条件
計算期間	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年5月期（第12期）（2021年12月1日～2022年5月31日）（182日） ・2022年11月期（第13期）（2022年6月1日～2022年11月30日）（183日）
運用資産	<ul style="list-style-type: none"> ・本投資法人の保有する物件数は、2021年12月24日付で公表した大江戸温泉物語 長崎ホテル清風を2022年1月13日付で譲渡し、13物件となることを前提としています。 ・2022年11月期末までの間に上記以外の変動（新規物件の取得又は保有物件の売却等）がないことを前提としています。 ・実際には、上記以外の新規物件の取得、又は保有物件の売却等により変動が生ずる可能性があります。
営業収益	<ul style="list-style-type: none"> ・保有資産の賃貸事業収益については、本書の日付現在効力を有する賃貸借契約を前提とし、今後予定されている賃料改定等を踏まえた上で、それぞれ市場動向等も勘案し算出しています。またテナントによる賃料の滞納又は不払いがないことを前提としています。 ・変動賃料の計算根拠となる期間は、2022年5月期（第12期）においては2021年3月から2022年2月における修正後GOP、2022年11月期（第13期）においては2021年9月から2022年8月における修正後GOPに各賃貸借契約に定められた一定の料率を乗じて変動賃料が算出されます。したがって新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響により変動賃料の算定基準となる修正後GOPが低下し、2022年5月期（第12期）及び2022年11月期（第13期）において全物件の変動賃料が発生しないことを前提としています。 なお、固定賃料については、本書の日付現在効力を有する賃貸借契約の約定に基づき、全額支払われることを前提としています。 ・賃料については、以下の前提で算定しています。 <p>[大江戸温泉物語 レオマリゾート]</p> <p>固定賃料：月額52,456,896円 変動賃料：月額5,181,730円とし、2019年6月以降、下記算出方法により算出される金額とします。</p> <p>① 直近1年間における修正後GOP（注1）×5.0%（年額。月額はその12分の1） ② 修正後GOPの58.7%が1年分の固定賃料を上回る場合に限り発生します。</p> <p>大江戸温泉物語 レオマリゾートについては、テナントとの間で定期借地契約が締結されており、別途、当該定期借地契約に基づく土地賃料を月額83,700円受領していますが、1年ごとに改定され、以下の通り算出します。</p> <p>変更後の賃料の額 = $((A \times 12 - B) + B') \div 12$</p> <p>A：当該時点における賃料の額 B：直前の基準年度（毎年12月1日からの1年間をいいます。以下同じです。）の開始日の直前の10月末日現在の納税通知書に基づき算定される、本件土地に賦課されていた固定資産税その他の公租公課、及び、地代（当該時点の年額支払賃料）の合計額 B'：当該基準年度の開始日の直前の10月末日現在の納税通知書に基づき算定される、本件土地に賦課される固定資産税その他の公租公課、及び、地代（当該時点の年額支払賃料）の合計額</p> <p>[大江戸温泉物語 伊勢志摩]</p> <p>固定賃料：月額18,009,399円 変動賃料：2016年12月以降、月額962,993円とし6か月ごとに改定され、以下の通り算定します。</p> <p>① 直近1年間における修正後GOP×4.0%（年額。月額はその12分の1） ② 修正後GOPの77.0%が1年分の固定賃料を上回る場合に限り発生します。</p> <p>[伊東ホテルニュー岡部]</p> <p>固定賃料：月額12,296,799円 変動賃料：2016年12月以降、月額1,471,251円とし6か月ごとに改定され、以下の通り算定します。</p> <p>① 直近1年間における修正後GOP×5.0%（年額。月額はその12分の1） ② 修正後GOPの52.0%が1年分の固定賃料を上回る場合に限り発生します。</p>

項目	前提条件
項目	前提条件
営業収益	<p>[大江戸温泉物語 あたみ] 固定賃料：月額15,619,380円 変動賃料：2016年12月以降、月額939,716円とし6か月ごとに改定され、以下の通り算定します。 ① 直近1年間における修正後GOP×4.0%（年額。月額はその12分の1） ② 修正後GOPの74.0%が1年分の固定賃料を上回る場合に限り発生します。</p> <p>[大江戸温泉物語 土肥マリンホテル] 固定賃料：月額9,098,235円 変動賃料：2016年12月以降、月額1,016,579円とし6か月ごとに改定され、以下の通り算定します。 ① 直近1年間における修正後GOP×7.0%（年額。月額はその12分の1） ② 修正後GOPの72.0%が1年分の固定賃料を上回る場合に限り発生します。</p> <p>[大江戸温泉物語 あわら] 固定賃料：月額10,963,033円 変動賃料：2016年12月以降、月額608,360円とし6か月ごとに改定され、以下の通り算定します。 ① 直近1年間における修正後GOP×3.0%（年額。月額はその12分の1） ② 修正後GOPの62.0%が1年分の固定賃料を上回る場合に限り発生します。</p> <p>[大江戸温泉物語 かもしか荘] 固定賃料：月額5,953,916円 変動賃料：2016年12月以降、月額655,836円とし6か月ごとに改定され、以下の通り算定します。 ① 直近1年間における修正後GOP×6.0%（年額。月額はその12分の1） ② 修正後GOPの62.0%が1年分の固定賃料を上回る場合に限り発生します。</p> <p>[大江戸温泉物語 伊香保] 固定賃料：月額6,126,558円 変動賃料：2016年12月以降、月額708,097円とし6か月ごとに改定され、以下の通り算定します。 ① 直近1年間における修正後GOP×7.0%（年額。月額はその12分の1） ② 修正後GOPの67.0%が1年分の固定賃料を上回る場合に限り発生します。</p> <p>[大江戸温泉物語 君津の森] 固定賃料：月額4,098,412円 変動賃料：2016年12月以降、月額436,860円とし6か月ごとに改定され、以下の通り算定します。 ① 直近1年間における修正後GOP×5.0%（年額。月額はその12分の1） ② 修正後GOPの52.0%が1年分の固定賃料を上回る場合に限り発生します。</p> <p>[大江戸温泉物語 長崎ホテル清風] ※2022年1月13日付で譲渡しました。 固定賃料：月額12,496,532円 変動賃料：2018年6月以降、月額498,384円とし6か月ごとに改定され、以下の通り算定します。 ① 直近1年間における修正後GOP×2.2%（年額。月額はその12分の1） ② 修正後GOPの44.7%が1年分の固定賃料を上回る場合に限り発生します。</p> <p>[大江戸温泉物語 幸雲閣] 固定賃料：月額7,017,209円 変動賃料：2018年6月以降、月額755,005円とし6か月ごとに改定され、以下の通り算定します。 ① 直近1年間における修正後GOP×4.5%（年額。月額はその12分の1） ② 修正後GOPの45.3%が1年分の固定賃料を上回る場合に限り発生します。</p>

項目	前提条件																																																																																																		
営業収益	<p>[鬼怒川観光ホテル] 固定賃料：月額29,069,741円 変動賃料：2018年6月以降、月額1,188,094円とし6か月ごとに改定され、以下の通り算定します。 ① 直近1年間における修正後GOP×2.4%（年額。月額はその12分の1） ② 修正後GOPの56.0%が1年分の固定賃料を上回る場合に限り発生します。</p> <p>[大江戸温泉物語 きのさき] 固定賃料：月額13,147,999円 変動賃料：2018年6月以降、月額650,945円とし6か月ごとに改定され、以下の通り算定します。 ① 直近1年間における修正後GOP×2.4%（年額。月額はその12分の1） ② 修正後GOPの47.7%が1年分の固定賃料を上回る場合に限り発生します。</p> <p>[大江戸温泉物語 東山グランドホテル] 固定賃料：月額8,631,767円 変動賃料：2018年6月以降、月額940,567円とし6か月ごとに改定され、以下の通り算定します。 ① 直近1年間における修正後GOP×4.5%（年額。月額はその12分の1） ② 修正後GOPの45.0%が1年分の固定賃料を上回る場合に限り発生します。</p> <p>2022年5月期（第12期）</p> <p style="text-align: right;">（百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">物件名称</th> <th colspan="2">第一賃料(注2)</th> <th rowspan="2">第二賃料 (注5)</th> <th rowspan="2">その他 収入</th> <th rowspan="2">合計 (注9)</th> </tr> <tr> <th>固定賃料 (注3)</th> <th>変動賃料 (注4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大江戸温泉物語 レオマリゾート</td> <td>314</td> <td>—</td> <td>30</td> <td>0 (注6)</td> <td>345</td> </tr> <tr> <td>大江戸温泉物語 伊勢志摩</td> <td>108</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>—</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>伊東ホテルニュー岡部</td> <td>73</td> <td>—</td> <td>8</td> <td>—</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>大江戸温泉物語 あたみ</td> <td>93</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>—</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>大江戸温泉物語 土肥マリンホテル</td> <td>54</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>大江戸温泉物語 あわら</td> <td>65</td> <td>—</td> <td>8</td> <td>—</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>大江戸温泉物語 かもしか荘</td> <td>35</td> <td>—</td> <td>5</td> <td>—</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>大江戸温泉物語 伊香保</td> <td>36</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>—</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>大江戸温泉物語 君津の森</td> <td>24</td> <td>—</td> <td>5</td> <td>—</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>大江戸温泉物語 長崎ホテル清風</td> <td>17</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>11 (注7)</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>大江戸温泉物語 幸雲閣</td> <td>42</td> <td>—</td> <td>4</td> <td>—</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>鬼怒川観光ホテル</td> <td>174</td> <td>—</td> <td>7</td> <td>—</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td>大江戸温泉物語 きのさき</td> <td>78</td> <td>—</td> <td>6</td> <td>—</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>大江戸温泉物語 東山グランドホテル</td> <td>51</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>0 (注8)</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>合計（注9）</td> <td>1,172</td> <td>—</td> <td>101</td> <td>11</td> <td>1,285</td> </tr> </tbody> </table>	物件名称	第一賃料(注2)		第二賃料 (注5)	その他 収入	合計 (注9)	固定賃料 (注3)	変動賃料 (注4)	大江戸温泉物語 レオマリゾート	314	—	30	0 (注6)	345	大江戸温泉物語 伊勢志摩	108	—	3	—	111	伊東ホテルニュー岡部	73	—	8	—	82	大江戸温泉物語 あたみ	93	—	3	—	97	大江戸温泉物語 土肥マリンホテル	54	—	1	—	56	大江戸温泉物語 あわら	65	—	8	—	74	大江戸温泉物語 かもしか荘	35	—	5	—	41	大江戸温泉物語 伊香保	36	—	3	—	40	大江戸温泉物語 君津の森	24	—	5	—	29	大江戸温泉物語 長崎ホテル清風	17	—	1	11 (注7)	29	大江戸温泉物語 幸雲閣	42	—	4	—	46	鬼怒川観光ホテル	174	—	7	—	182	大江戸温泉物語 きのさき	78	—	6	—	85	大江戸温泉物語 東山グランドホテル	51	—	10	0 (注8)	62	合計（注9）	1,172	—	101	11	1,285
物件名称	第一賃料(注2)		第二賃料 (注5)	その他 収入				合計 (注9)																																																																																											
	固定賃料 (注3)	変動賃料 (注4)																																																																																																	
大江戸温泉物語 レオマリゾート	314	—	30	0 (注6)	345																																																																																														
大江戸温泉物語 伊勢志摩	108	—	3	—	111																																																																																														
伊東ホテルニュー岡部	73	—	8	—	82																																																																																														
大江戸温泉物語 あたみ	93	—	3	—	97																																																																																														
大江戸温泉物語 土肥マリンホテル	54	—	1	—	56																																																																																														
大江戸温泉物語 あわら	65	—	8	—	74																																																																																														
大江戸温泉物語 かもしか荘	35	—	5	—	41																																																																																														
大江戸温泉物語 伊香保	36	—	3	—	40																																																																																														
大江戸温泉物語 君津の森	24	—	5	—	29																																																																																														
大江戸温泉物語 長崎ホテル清風	17	—	1	11 (注7)	29																																																																																														
大江戸温泉物語 幸雲閣	42	—	4	—	46																																																																																														
鬼怒川観光ホテル	174	—	7	—	182																																																																																														
大江戸温泉物語 きのさき	78	—	6	—	85																																																																																														
大江戸温泉物語 東山グランドホテル	51	—	10	0 (注8)	62																																																																																														
合計（注9）	1,172	—	101	11	1,285																																																																																														

項目	前提条件					
営業収益	2022年11月期（第13期） (百万円)					
	物件名称	第一賃料(注2)		第二賃料 (注5)	その他 収入	合計 (注9)
		固定賃料 (注3)	変動賃料 (注4)			
	大江戸温泉物語 レオマリゾート	314	-	30	0 (注6)	345
	大江戸温泉物語 伊勢志摩	108	-	3	-	111
	伊東ホテルニュー岡部	73	-	8	-	82
	大江戸温泉物語 あたみ	93	-	3	-	97
	大江戸温泉物語 土肥マリンホテル	54	-	1	-	56
	大江戸温泉物語 あわら	65	-	8	-	74
	大江戸温泉物語 かもしか荘	35	-	5	-	41
	大江戸温泉物語 伊香保	36	-	3	-	40
	大江戸温泉物語 君津の森	24	-	5	-	29
	大江戸温泉物語 幸雲閣	42	-	4	-	46
	鬼怒川観光ホテル	174	-	7	-	181
	大江戸温泉物語 きのさき	78	-	6	-	85
大江戸温泉物語 東山グランドホテル	51	-	10	0 (注8)	62	
合計 (注9)	1,154	-	100	0	1,255	
<p>(注1) 「GOP」とは、売上高営業粗利益をいい、各施設の売上高から、人件費、一般管理費等の、各施設の運営に関して直接発生した費用を控除した残額をいいます。「修正後GOP」とは、修正後GOP計算期間（下記（注4）に定義します。）に係る各施設のGOPから、テナントが負担する本物件に関する不動産関係費用（租税公課、損害保険料及び地代家賃を含みますが、これに限定されません。ただし、第二賃料（下記（注5）に定義します。）相当額を除きます。）を控除した額をいいます。以下同じです。</p> <p>(注2) 「第一賃料」とは、固定賃料及び変動賃料の合計額とします。以下同じです。</p> <p>(注3) 「固定賃料」とは、各施設に係る各賃貸借契約に定められた月額です。以下同じです。</p> <p>(注4) 「変動賃料」は、各施設に関する直近1年間（毎年12月からの6か月間については当年3月から翌年2月までの1年間をいい、毎年6月からの6か月間については前年9月から当年8月までの1年間をいいます。）（以下、これらの1年間を「修正後GOP計算期間」といいます。）における各施設の修正後GOPに各賃貸借契約に定められた一定の料率を乗じた額となります（年額。月額はその12分の1）。以下同じです。</p> <p>(注5) 「第二賃料」とは、本投資法人が所有する各施設につき、本投資法人が負担すべき公租公課及び損害保険料並びにその他費用の合計額（不動産運営費）相当額と同額の賃料をいいます。以下同じです。</p> <p>(注6) 定期借地契約に基づく土地賃料を記載しています。</p> <p>(注7) 譲渡による不動産売却益を想定しています。</p> <p>(注8) 定期借地契約に基づく土地賃料を記載しています。</p> <p>(注9) 各物件の各賃料は百万円未満を切り捨てて記載しています。したがって、各物件の賃料の合計、固定賃料の合計、変動賃料の合計及び第二賃料の合計が合計欄に記載の数値と一致しない場合があります。</p>						

項目	前提条件
営業費用	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる営業費用である賃貸事業費用のうち、減価償却費以外の賃貸事業費用については、過去の実績値をベースとし、費用の変動要素を勘案して算出しています。 ・公租公課については、2022年5月期に87百万円、2022年11月期に86百万円を費用として計上しています。 ・建物の修繕費は、本書の日付現在において効力を有する賃貸借契約に基づき、原則として賃借人の負担となるため見込んでいません。 ・減価償却費については、付随費用、将来の追加資本的支出を含めて定額法により算出しており2022年5月期に439百万円、2022年11月期に442百万円を想定しています。
営業外費用	<ul style="list-style-type: none"> ・支払利息及びその他の融資関連費用の合計額として2022年5月期に164百万円、2022年11月期に143百万円を見込んでいます。
借入金	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年11月30日現在の借入金残高は14,069百万円となっています。 ・2022年5月期及び2022年11月期に、別途約定によりそれぞれ175百万円を返済することを前提としています。 ・2022年1月13日に600百万円を期限前弁済することを前提としています。 ・2022年5月期においては、2022年2月28日に短期借入金230百万円のうち、30百万円を一部返済することを前提としています。また、2022年2月28日に短期借入金2,102百万円及び4,349百万円、2022年5月31日に長期借入金3,093百万円の期限が到来しますが、同額の借換えを行うことを前提としています。
発行済投資口の総口数	<ul style="list-style-type: none"> ・本書の日付現在における発行済投資口数の総口数235,347口を前提としており、2022年11月30日までに新投資口の追加発行等による投資口数の変動がないことを前提としています。 ・1口当たり分配金は、2022年5月期及び2022年11月期の予想期末発行済投資口の総口数235,347口により算出しています。
1口当たり分配金（利益超過分配金は含まない）	<ul style="list-style-type: none"> ・1口当たり分配金（利益超過分配金は含まない）は、本投資法人の規約に定める金銭の分配方針を前提として算出しています。 ・運用資産の異動、テナントの異動等に伴う賃料収入の変動又は予期せぬ資本的支出の発生等を含む種々の要因により、1口当たり分配金（利益超過分配金は含まない）は変動する可能性があります。
1口当たり利益超過分配金	<ul style="list-style-type: none"> ・資産除去債務関連費用の計上に伴う税会不一致に対して、一時差異等調整引当額4,236,246円の計上を見込んでいます。 ・利益超過分配の実施に関し、本投資法人は、一時差異等調整引当額の増加額に相当する利益超過分配の実施を基本方針とし、当該方針に従い、2022年5月期及び2022年11月期に、それぞれ1口当たり18円の利益超過分配を行うことを想定しています。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・法令、税制、会計基準、上場規則、投信協会規則等において、上記の予想数値に影響を与える改正が行われないことを前提としています。 ・一般的な経済動向及び不動産市況等に不測の重大な変化が生じないことを前提としています。

(2) 投資リスク

最近の有価証券報告書（2021年8月24日提出）における「投資リスク」から重要な変更がないため開示を省略します。

2. 財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前期 (2021年5月31日)	当期 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,356,485	2,475,520
前払費用	101,517	107,620
その他	6,866	6,799
流動資産合計	2,464,869	2,589,940
固定資産		
有形固定資産		
建物	26,761,904	26,896,509
減価償却累計額	△3,686,238	△4,135,462
建物（純額）	※2 23,075,666	※2 22,761,046
構築物	10,979	16,979
減価償却累計額	△1,986	△2,525
構築物（純額）	※2 8,992	※2 14,453
機械及び装置	600	600
減価償却累計額	△115	△132
機械及び装置（純額）	※2 484	※2 467
工具、器具及び備品	9,972	15,651
減価償却累計額	△2,042	△3,039
工具、器具及び備品（純額）	※2 7,930	※2 12,612
土地	※2 11,208,770	※2 11,208,770
有形固定資産合計	34,301,844	33,997,351
無形固定資産		
借地権	303,751	302,274
ソフトウェア	544	50
無形固定資産合計	304,296	302,325
投資その他の資産		
繰延税金資産	15	16
長期前払費用	41,499	26,374
差入敷金及び保証金	10,089	10,089
投資その他の資産合計	51,605	36,481
固定資産合計	34,657,746	34,336,158
資産合計	37,122,615	36,926,098

(単位：千円)

	前期 (2021年5月31日)	当期 (2021年11月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	8,045	91,868
短期借入金	※2 5,193,060	※2 7,293,300
1年内返済予定の長期借入金	※2 5,509,515	※2 3,246,375
未払金	83,234	88,362
未払費用	7,482	8,389
未払法人税等	932	955
未払消費税等	34,830	20,772
前受金	247,064	245,331
その他	6,973	9,960
流動負債合計	11,091,139	11,005,314
固定負債		
長期借入金	※2 3,569,375	※2 3,529,625
預り敷金及び保証金	1,230,692	1,230,441
資産除去債務	139,096	139,502
固定負債合計	4,939,164	4,899,568
負債合計	16,030,303	15,904,883
純資産の部		
投資主資本		
出資総額	20,653,023	20,653,023
出資総額控除額		
一時差異等調整引当額	※1 △20,175	※1 △24,411
出資総額控除額合計	△20,175	△24,411
出資総額(純額)	20,632,847	20,628,611
剰余金		
当期末処分利益又は当期末処理損失(△)	459,464	392,604
剰余金合計	459,464	392,604
投資主資本合計	21,092,312	21,021,215
純資産合計	※3 21,092,312	※3 21,021,215
負債純資産合計	37,122,615	36,926,098

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前期		当期	
	自 2020年12月 1日 至 2021年 5月31日		自 2021年 6月 1日 至 2021年11月30日	
営業収益				
貸貸事業収入		※1 1,348,319		※1 1,344,058
営業収益合計		1,348,319		1,344,058
営業費用				
貸貸事業費用		※1, ※2 577,073		※1, ※2 574,035
資産運用報酬		119,720		118,566
資産保管手数料		1,676		1,665
一般事務委託手数料		17,032		16,511
役員報酬		3,600		3,600
その他営業費用		※2 35,716		※2 40,270
営業費用合計		754,817		754,649
営業利益		593,501		589,408
営業外収益				
受取利息		11		10
未払分配金戻入		637		750
営業外収益合計		648		761
営業外費用				
支払利息		50,927		56,914
融資関連費用		82,956		102,177
抵当権設定費用		—		37,586
営業外費用合計		133,884		196,678
経常利益		460,266		393,492
税引前当期純利益		460,266		393,492
法人税、住民税及び事業税		934		956
法人税等調整額		0		△1
法人税等合計		935		955
当期純利益		459,331		392,536
前期繰越利益		133		67
当期末処分利益又は当期末処理損失(△)		459,464		392,604

(3) 投資主資本等変動計算書

前期 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)

(単位：千円)

	投資主資本							純資産合計
	出資総額				剰余金		投資主資本 合計	
	出資総額	出資総額控除額		出資総額 (純額)	当期末処分 利益又は当 期末処理損 失 (△)	剰余金合計		
		一時差異等 調整引当額	出資総額控 除額合計					
当期首残高	20,653,023	△17,116	△17,116	20,635,907	466,826	466,826	21,102,733	21,102,733
当期変動額								
剰余金の配当					△466,693	△466,693	△466,693	△466,693
一時差異等調整 引当額による利 益超過分配		△3,059	△3,059	△3,059			△3,059	△3,059
当期純利益					459,331	459,331	459,331	459,331
当期変動額合計	—	△3,059	△3,059	△3,059	△7,361	△7,361	△10,421	△10,421
当期末残高	※1 20,653,023	△20,175	△20,175	20,632,847	459,464	459,464	21,092,312	21,092,312

当期 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)

(単位：千円)

	投資主資本							純資産合計
	出資総額				剰余金		投資主資本 合計	
	出資総額	出資総額控除額		出資総額 (純額)	当期末処分 利益又は当 期末処理損 失 (△)	剰余金合計		
		一時差異等 調整引当額	出資総額控 除額合計					
当期首残高	20,653,023	△20,175	△20,175	20,632,847	459,464	459,464	21,092,312	21,092,312
当期変動額								
剰余金の配当					△459,397	△459,397	△459,397	△459,397
一時差異等調整 引当額による利 益超過分配		△4,236	△4,236	△4,236			△4,236	△4,236
当期純利益					392,536	392,536	392,536	392,536
当期変動額合計	—	△4,236	△4,236	△4,236	△66,860	△66,860	△71,096	△71,096
当期末残高	※1 20,653,023	△24,411	△24,411	20,628,611	392,604	392,604	21,021,215	21,021,215

(4) 金銭の分配に係る計算書

(単位：円)

項目	前期		当期	
	自 2020年12月 1日	至 2021年 5月31日	自 2021年 6月 1日	至 2021年11月30日
I 当期末処分利益		459,464,668		392,604,088
II 利益超過分配金加算額		4,236,246		4,236,246
うち一時差異等調整引当額		4,236,246		4,236,246
III 分配金の額		463,633,590		396,795,042
(投資口1口当たり分配金の額)		(1,970)		(1,686)
うち利益分配金		459,397,344		392,558,796
(うち1口当たり利益分配金)		(1,952)		(1,668)
うち一時差異等調整引当額		4,236,246		4,236,246
(うち1口当たり利益超過分配金 (一時差異等調整引当額に係るもの))		(18)		(18)
IV 次期繰越利益		67,324		45,292
分配金の額の算出方法	<p>上記のとおり、当期の投資口1口当たり分配金は、1,970円としております。</p> <p>利益分配金（利益超過分配金は含みません。）については、税制の特例（租税特別措置法第67条の15第1項）の適用により、利益分配金の最大額が損金算入されることを企図して、投資口1口当たりの利益分配金が1円未満となる端数部分を除いた、投資信託及び投資法人に関する法律第136条第1項に定める利益の概ね全額を分配することとし、この結果、投資口1口当たり利益分配金（利益超過分配金は含みません。）を1,952円としました。</p> <p>また、本投資法人は、規約第25条に定める利益を超えた分配の方針に従い、資産除去債務関連費用及び借地権償却費に係る所得超過税会不一致（投資法人の計算に関する規則第2条第2項第30号イに定めるものをいいます。）が分配金に与える影響を考慮して、一時差異等調整引当額の分配を4,236,246円行うこととし、投資口1口当たりの一時差異等調整引当額の分配金を18円としました。</p>		<p>上記のとおり、当期の投資口1口当たり分配金は、1,686円としております。</p> <p>利益分配金（利益超過分配金は含みません。）については、税制の特例（租税特別措置法第67条の15第1項）の適用により、利益分配金の最大額が損金算入されることを企図して、投資口1口当たりの利益分配金が1円未満となる端数部分を除いた、投資信託及び投資法人に関する法律第136条第1項に定める利益の概ね全額を分配することとし、この結果、投資口1口当たり利益分配金（利益超過分配金は含みません。）を1,668円としました。</p> <p>また、本投資法人は、規約第25条に定める利益を超えた分配の方針に従い、資産除去債務関連費用及び借地権償却費に係る所得超過税会不一致（投資法人の計算に関する規則第2条第2項第30号イに定めるものをいいます。）が分配金に与える影響を考慮して、一時差異等調整引当額の分配を4,236,246円行うこととし、投資口1口当たりの一時差異等調整引当額の分配金を18円としました。</p>	

(5) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前期		当期	
	自	2020年12月 1日 至 2021年 5月31日	自	2021年 6月 1日 至 2021年11月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税引前当期純利益		460,266		393,492
減価償却費		450,030		452,782
融資関連費用		82,956		102,177
受取利息		△11		△10
支払利息		50,927		56,914
営業未払金の増減額 (△は減少)		△44,552		41,360
未払消費税等の増減額 (△は減少)		△150		△14,058
前払費用の増減額 (△は増加)		△1,020		△48,998
長期前払費用の増減額 (△は増加)		1,125		1,125
未払金の増減額 (△は減少)		1,044		5,128
前受金の増減額 (△は減少)		652		△1,733
その他		35		3,574
小計		1,001,303		991,754
利息の受取額		11		10
利息の支払額		△51,635		△56,007
法人税等の支払額		△942		△934
営業活動によるキャッシュ・フロー		948,736		934,823
投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出		△165,385		△103,970
預り敷金及び保証金の返還による支出		—		△251
投資活動によるキャッシュ・フロー		△165,385		△104,222
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入れによる収入		3,713,545		7,279,477
短期借入金の返済による支出		△25,420		△5,224,520
長期借入金の返済による支出		△3,891,230		△2,302,890
分配金の支払額		△469,752		△463,633
財務活動によるキャッシュ・フロー		△672,857		△711,566
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)		110,493		119,034
現金及び現金同等物の期首残高		920,767		1,031,260
現金及び現金同等物の期末残高		※1 1,031,260		※1 1,150,295

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産 定額法を採用しています。 なお、主たる有形固定資産の耐用年数は以下のとおりです。</p> <table border="0"><tr><td>建物</td><td>3～44年</td></tr><tr><td>構築物</td><td>10～30年</td></tr><tr><td>機械及び装置</td><td>17年</td></tr><tr><td>工具、器具及び備品</td><td>6～10年</td></tr></table> <p>(2) 無形固定資産 定額法を採用しています。 なお、主たる償却年数は以下のとおりです。 ソフトウェア（自社利用分）社内における利用可能期間5年 借地権 50年</p> <p>(3) 長期前払費用 定額法を採用しています。</p>	建物	3～44年	構築物	10～30年	機械及び装置	17年	工具、器具及び備品	6～10年
建物	3～44年								
構築物	10～30年								
機械及び装置	17年								
工具、器具及び備品	6～10年								
2. 収益及び費用の計上基準	<p>(1) 固定資産税等の処理方法 保有する不動産等に係る固定資産税、都市計画税及び償却資産税等については、賦課決定された税額のうち、当該計算期間に対応する額を賃貸事業費用として費用処理する方法を採用しています。 なお、不動産等の取得に伴い、譲渡人に支払った取得日を含む年度の固定資産税等の精算金は、賃貸事業費用として計上せず、当該不動産等の取得原価に算入しています。前期及び当期において不動産等の取得原価に算入した固定資産税等相当額はありませぬ。</p> <p>(2) 収益に関する計上基準 本投資法人の顧客との契約から生じる収益に関する主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりです。 不動産等の売却 不動産等売却収入については、不動産売却に係る契約に定められた引渡義務を履行することにより、顧客である買主が当該不動産等の支配を獲得した時点で収益計上を行っています。</p>								
3. キャッシュ・フロー計算書における資金（現金及び現金同等物）の範囲	キャッシュ・フロー計算書における資金（現金及び現金同等物）は、手許現金及び随時引き出し可能な預金並びに容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっています。								
4. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	消費税等の処理方法 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜処理によっています。								

(8) 会計方針の変更に関する注記

1. 収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」といいます。）等を当計算期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取る見込まれる金額で収益を認識することとしました。これによる当計算期間の財務諸表に与える影響は軽微です。

なお、収益認識会計基準第89-3項に定める経過的な取扱いに従って、前計算期間に係る「収益認識関係」注記については記載していません。

2. 時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」といいます。）等を当計算期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしました。これによる当計算期間の財務諸表に与える影響は軽微で

す。

[追加情報]

[一時差異等調整引当額の引当て及び戻入れに関する注記]

前期（自 2020年12月1日 至 2021年5月31日）

1. 引当ての発生事由、発生した資産等及び引当額

(単位:千円)

発生した資産等	引当ての発生事由	一時差異等調整引当額
「大江戸温泉物語 あたみ」等6 物件の建物及び「大江戸温泉物 語 レオマリゾート」の借地権	資産除去債務関連費用及び借地 権償却額の計上に伴う税会不 一致の発生	4,236

2. 戻入れの具体的な方法

資産除去債務関連費用が発生した翌期以降、「大江戸温泉物語 あたみ、土肥マリンホテル、あわら、伊香保、きのさき及び東山グランドホテル」の建物に係るアスベストの除去（処理）及びPCBを含有する物品の撤去及び資産等の売却等により、損金算入した時点で対応すべき金額を戻し入れる予定です。

なお、各物件のアスベストについては株式会社アースアプレイザルの調査結果を得て、現状の使用に特別な問題はないと考えており、今後も適切な管理を継続します。また、PCBを含有している物品についても法律に従い管轄官庁に保管状況の届出を行い、適切に保管しています。

当期（自 2021年6月1日 至 2021年11月30日）

1. 引当ての発生事由、発生した資産等及び引当額

(単位:千円)

発生した資産等	引当ての発生事由	一時差異等調整引当額
「大江戸温泉物語 あたみ」等6 物件の建物及び「大江戸温泉物 語 レオマリゾート」の借地権	資産除去債務関連費用及び借地 権償却額の計上に伴う税会不 一致の発生	4,236

2. 戻入れの具体的な方法

資産除去債務関連費用が発生した翌期以降、「大江戸温泉物語 あたみ、土肥マリンホテル、あわら、伊香保、きのさき及び東山グランドホテル」の建物に係るアスベストの除去（処理）及びPCBを含有する物品の撤去及び資産等の売却等により、損金算入した時点で対応すべき金額を戻し入れる予定です。

なお、各物件のアスベストについては株式会社アースアプレイザルの調査結果を得て、現状の使用に特別な問題はないと考えており、今後も適切な管理を継続します。また、PCBを含有している物品についても法律に従い管轄官庁に保管状況の届出を行い、適切に保管しています。

(9) 財務諸表に関する注記事項

[貸借対照表に関する注記]

※1 一時差異等調整引当額

前期 (2021年5月31日)

1. 引当ての発生事由、発生した資産等、当初発生額及び引当額

(単位:千円)

発生した資産等	発生事由	当初発生額	当期首残高	当期引当額	当期戻入額	当期末残高	戻入れの事由
建物 借地権	資産除去債務関連費用及び借地権償却額の計上に伴う税会不一致の発生	306,772	17,116	3,059	—	20,175	—

(注) 当初発生額は、各資産から生じる一時差異等の合計金額であり、当該金額を基礎として引当額の計上及び戻入れを行います。

2. 戻入れの具体的な方法

アスベストの除去(処理)及びPCBを含有する物品の撤去、又は売却等の時点において、対応すべき金額を戻し入れる予定です。

当期 (2021年11月30日)

1. 引当ての発生事由、発生した資産等、当初発生額及び引当額

(単位:千円)

発生した資産等	発生事由	当初発生額	当期首残高	当期引当額	当期戻入額	当期末残高	戻入れの事由
建物 借地権	資産除去債務関連費用及び借地権償却額の計上に伴う税会不一致の発生	306,772	20,175	4,236	—	24,411	—

(注) 当初発生額は、各資産から生じる一時差異等の合計金額であり、当該金額を基礎として引当額の計上及び戻入れを行います。

2. 戻入れの具体的な方法

アスベストの除去(処理)及びPCBを含有する物品の撤去、又は売却等の時点において、対応すべき金額を戻し入れる予定です。

※2 担保に供している資産及び担保を付している債務

担保に供している資産は次のとおりです。

(単位:千円)

	前期 (2021年5月31日)	当期 (2021年11月30日)
建物	—	22,761,046
構築物	—	14,453
機械及び装置	—	467
工具、器具及び備品	—	12,612
土地	—	11,208,770
合計	—	33,997,351

担保を付している債務は次のとおりです。

(単位:千円)

	前期 (2021年5月31日)	当期 (2021年11月30日)
短期借入金	—	7,293,300
1年内返済予定の長期借入金	—	3,246,375
長期借入金	—	3,529,625
合計	—	14,069,300

※3 投資信託及び投資法人に関する法律第67条第4項に定める最低純資産額

(単位：千円)

	前期 (2021年5月31日)	当期 (2021年11月30日)
	50,000	50,000

[損益計算書に関する注記]

※1 不動産賃貸事業損益の内訳

(単位：千円)

	前期 自 2020年12月 1日 至 2021年 5月31日	当期 自 2021年 6月 1日 至 2021年11月30日
A. 不動産賃貸事業収益		
賃貸事業収入		
賃料収入	1,342,727	1,342,349
その他賃貸事業収入	5,591	1,709
不動産賃貸事業収益合計	1,348,319	1,344,058
B. 不動産賃貸事業費用		
賃貸事業費用		
管理委託費	15,000	15,000
損害保険料	7,894	8,246
減価償却費	449,227	452,288
公租公課	96,306	93,457
その他費用	8,644	5,043
不動産賃貸事業費用合計	577,073	574,035
C. 不動産賃貸事業損益 (A-B)	771,246	770,023

※2 減価償却実施額は次のとおりです。

(単位：千円)

	前期 自 2020年12月 1日 至 2021年 5月31日	当期 自 2021年 6月 1日 至 2021年11月30日
賃貸事業費用		
有形固定資産	447,750	450,811
無形固定資産	1,476	1,476
その他営業費用		
無形固定資産	802	494

[投資主資本等変動計算書に関する注記]

※1 発行可能投資口総口数及び発行済投資口の総口数

	前期 自 2020年12月 1日 至 2021年 5月31日	当期 自 2021年 6月 1日 至 2021年11月30日
発行可能投資口総口数	10,000,000口	10,000,000口
発行済投資口の総口数	235,347口	235,347口

[キャッシュ・フロー計算書に関する注記]

※1 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

(単位:千円)

	前期 自 2020年12月 1日 至 2021年 5月31日	当期 自 2021年 6月 1日 至 2021年11月30日
現金及び預金	2,356,485	2,475,520
使途制限付預金 (注)	△1,325,224	△1,325,224
現金及び現金同等物	1,031,260	1,150,295

(注) テナントから預かっている敷金及び保証金の返還並びに物件の維持修繕に係る支出のために留保されている預金です。

[リース取引に関する注記]

オペレーティング・リース取引 (貸主側)

未経過リース料

(単位:千円)

	前期 (2021年 5月31日)	当期 (2021年11月30日)
1年以内	2,133,669	2,024,948
1年超	3,211,059	2,198,584
合計	5,344,728	4,223,533

オペレーティング・リース取引 (借主側)

未経過リース料

(単位:千円)

	前期 (2021年 5月31日)	当期 (2021年11月30日)
1年以内	4,588	4,588
1年超	88,714	86,420
合計	93,303	91,008

[金融商品に関する注記]

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

本投資法人では、中長期的に安定的かつ健全な財務基盤を構築することを基本方針とし、金融機関からの借入れ、投資法人債の発行又は新投資口の発行等によって、分散され、バランスのとれた資金調達を行います。

新投資口の発行は、発行に伴い取得する物件の収益性、取得時期、LTV水準、有利子負債の返済時期等を総合的に考慮し、新投資口の発行による持分割合の低下に配慮した上で適時に実施するものとします。借入金及び投資法人債の発行により調達した資金の用途は、資産の取得、修繕、敷金・保証金の返済、分配金の支払、本投資法人の費用の支払又は債務の返済等としています。

また、諸々の資金ニーズに対応するため、融資枠等の設定状況も勘案した上で、妥当と考えられる金額を現預金として保有するものとします。

デリバティブ取引については、借入金等の金利変動リスクその他のリスクをヘッジする目的として行うことがあります、投機的な取引は行いません。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

借入金は、主に資産の取得資金、債務の返済資金の調達を目的としています。借入金は、弁済期の到来時に借換えを行うことが出来ないリスクに晒されていますが、調達先の分散を図り、投資口の発行等による資金調達を含めたバランスの取れた資金調達案を検討し、実行することでリスクの低減を図っています。

また、変動金利による借入金は、支払金利の上昇リスクに晒されていますが、LTVの上限を設定し、金利の上昇が本投資法人の運営に与える影響を限定しています。

預金は、本投資法人の余剰資金を運用するものであり、預入先金融機関の破綻など信用リスクに晒されていますが、安全性及び換金性を考慮し、預入期間を短期に限定して運用しています。

(3) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

該当事項はありません。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2021年5月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。なお、「現金及び預金」、「短期借入金」は現金及び短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、注記を省略しています。また、「預り敷金及び保証金」は重要性が乏しいため、注記を省略しています。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 1年内返済予定の長期借入金	5,509,515	5,509,515	—
(2) 長期借入金	3,569,375	3,569,375	—

2021年11月30日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。なお、「現金及び預金」、「短期借入金」は現金及び短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、注記を省略しています。また、「預り敷金及び保証金」は重要性が乏しいため、注記を省略しています。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 1年内返済予定の長期借入金	3,246,375	3,246,375	—
(2) 長期借入金	3,529,625	3,529,625	—

(注1) 金融商品の時価の算定方法

(1) 1年内返済予定の長期借入金、(2) 長期借入金

これらは全て変動金利によるものであり、短期間で市場金利を反映し、時価は帳簿価額と近似していると言えることから、当該帳簿価額によっています。

(注2) 借入金の決算日 (2021年5月31日) 後の返済予定額

(単位: 千円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
1年内返済予定の長期借入金	5,509,515	—	—	—	—	—
長期借入金	—	3,569,375	—	—	—	—
合計	5,509,515	3,569,375	—	—	—	—

借入金の決算日 (2021年11月30日) 後の返済予定額

(単位: 千円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
1年内返済予定の長期借入金	3,246,375	—	—	—	—	—
長期借入金	—	3,529,625	—	—	—	—
合計	3,246,375	3,529,625	—	—	—	—

[有価証券に関する注記]

前期 (2021年5月31日)

該当事項はありません。

当期 (2021年11月30日)

該当事項はありません。

[デリバティブ取引に関する注記]

前期 (2021年5月31日)

1. ヘッジ会計が適用されていないもの

該当事項はありません。

2. ヘッジ会計が適用されているもの

該当事項はありません。

当期 (2021年11月30日)

1. ヘッジ会計が適用されていないもの

該当事項はありません。

2. ヘッジ会計が適用されているもの

該当事項はありません。

[退職給付に関する注記]

前期 (2021年5月31日)

本投資法人は、退職給付制度がありませんので、該当事項はありません。

当期 (2021年11月30日)

本投資法人は、退職給付制度がありませんので、該当事項はありません。

[税効果会計に関する注記]

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

(単位:千円)

	前期 (2021年5月31日)	当期 (2021年11月30日)
繰延税金資産		
未払事業税損金不算入額	15	16
資産除去債務	43,759	43,887
借地権償却	542	1,006
繰延税金資産小計	44,317	44,910
評価性引当額	△8,009	△9,399
繰延税金資産合計	36,308	35,511
繰延税金負債		
資産除去債務に対応する有形固定資産	△36,292	△35,494
繰延税金負債合計	△36,292	△35,494
繰延税金資産の純額	15	16

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

(単位:%)

	前期 (2021年5月31日)	当期 (2021年11月30日)
法定実効税率	31.46	31.46
(調整)		
支払分配金の損金算入額	△31.69	△31.72
評価性引当額の増減	0.30	0.35
その他	0.13	0.15
税効果会計適用後の法人税等の負担率	0.20	0.24

[持分法損益等に関する注記]

前期 (2021年5月31日)

該当事項はありません。

当期 (2021年11月30日)

該当事項はありません。

[関連当事者との取引に関する注記]

1. 親会社及び法人主要投資主等

前期 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)

該当事項はありません。

当期 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)

該当事項はありません。

2. 関連会社等

前期 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)

該当事項はありません。

当期（自 2021年6月1日 至 2021年11月30日）
該当事項はありません。

3. 兄弟会社等

前期（自 2020年12月1日 至 2021年5月31日）
該当事項はありません。

当期（自 2021年6月1日 至 2021年11月30日）
該当事項はありません。

4. 役員及び個人主要投資主等

前期（自 2020年12月1日 至 2021年5月31日）

属性	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金 又は 出資金 (千円)	事業の 内容又は 職業	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関係内容		取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
						役員の 兼任等	事業上の 関係				
役員	今西 文則	-	-	本投資法人執行役員兼大江戸温泉アセットマネジメント株式会社代表取締役社長	-	本投資法人執行役員兼大江戸温泉アセットマネジメント株式会社代表取締役社長	資産運用会社への資産運用報酬の支払	119,720	未払金	69,766	

(注1) 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれています。

(注2) 資産運用報酬の額は、今西文則が第三者（大江戸温泉アセットマネジメント株式会社）の代表者として行った取引であり、報酬額は、本投資法人の規約に定められた条件によっています。

当期（自 2021年6月1日 至 2021年11月30日）

属性	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金 又は 出資金 (千円)	事業の 内容又は 職業	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関係内容		取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
						役員の 兼任等	事業上の 関係				
役員	今西 文則	-	-	本投資法人執行役員兼大江戸温泉アセットマネジメント株式会社代表取締役社長	-	本投資法人執行役員兼大江戸温泉アセットマネジメント株式会社代表取締役社長	資産運用会社への資産運用報酬の支払	118,566	未払金	67,638	

(注1) 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれています。

(注2) 資産運用報酬の額は、今西文則が第三者（大江戸温泉アセットマネジメント株式会社）の代表者として行った取引であり、報酬額は、本投資法人の規約に定められた条件によっています。

[資産除去債務に関する注記]

前期（2021年5月31日）

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

1. 当該資産除去債務の概要

本投資法人は、保有する資産「大江戸温泉物語 あたみ、土肥マリンホテル、あわら、伊香保、きのさき及び東山グランドホテル」のアスベスト除去費用及びPCBを含有する物品の撤去費用の契約上、法令上の義務に関して資産除去債務を計上しています。

なお、各物件のアスベストについては株式会社アースアプレイザルの調査結果を得て、現状の使用に特別な問題はないと考えており、今後も適切な管理を継続します。また、PCBを含有している物品についても法律に従い管轄官庁に保管状況の届出を行い、適切に保管しています。

2. 当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を建物の耐用年数により22~40年と見積り、割引率は0.41~0.73%を使用して資産除去債務を算定しています。

3. 当該資産除去債務の総額の増減

(単位:千円)

期首残高	138,691
有形固定資産の取得に伴う増加額	—
時の経過による調整額	404
期末残高	139,096

当期(2021年11月30日)

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

1. 当該資産除去債務の概要

本投資法人は、保有する資産「大江戸温泉物語 あたみ、土肥マリンホテル、あわら、伊香保、きのさき及び東山グランドホテル」のアスベスト除去費用及びPCBを含有する物品の撤去費用の契約上、法令上の義務に関して資産除去債務を計上しています。

なお、各物件のアスベストについては株式会社アースアプレイザルの調査結果を得て、現状の使用に特別な問題は無いと考えており、今後も適切な管理を継続します。また、PCBを含有している物品についても法律に従い管轄官庁に保管状況の届出を行い、適切に保管しています。

2. 当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を建物の耐用年数により22~40年と見積り、割引率は0.41~0.73%を使用して資産除去債務を算定しています。

3. 当該資産除去債務の総額の増減

(単位:千円)

期首残高	139,096
有形固定資産の取得に伴う増加額	—
時の経過による調整額	405
期末残高	139,502

[賃貸等不動産に関する注記]

本投資法人では全国における主要な観光地、温泉地として認知度の高いエリアを中心に、ホテル・旅館用の賃貸等不動産を有しています。これら賃貸等不動産の貸借対照表計上額、期中増減額及び時価は、次のとおりです。

(単位:千円)

	前期 自 2020年12月 1日 至 2021年 5月31日	当期 自 2021年 6月 1日 至 2021年11月30日
貸借対照表計上額		
期首残高	34,955,779	34,605,595
期中増減額	△350,183	△305,969
期末残高	34,605,595	34,299,625
期末時価	40,209,000	39,199,000

(注1) 該当する賃貸等不動産の概要については、後記30ページ「3. 参考情報 (1) 投資資産等の価格に関する情報 ② 投資資産 b. 投資不動産物件」をご覧ください。

(注2) 貸借対照表計上額は、取得原価(付随費用を含みます。)から減価償却累計額を控除した金額です。

(注3) 賃貸等不動産の期中増減額のうち、前期の主な増加額は「大江戸温泉物語 レオマリゾート」他12物件の資本的支出(合計99,281千円)によるものであり、主な減少額は減価償却(合計449,227千円)によるものです。当期の主な増加額は「大江戸温泉物語 レオマリゾート」他10物件の資本的支出(合計146,433千円)によるものであり、主な減少額は減価償却(合計452,288千円)によるものです。

(注4) 期末時価は、社外の不動産鑑定士による鑑定評価額を記載しています。また、当該時価は、鑑定を行った日付現在の各保有資産

の損益状況及び賃料改定交渉の状況を鑑みた結果、本書の日付現在において効力を有する各保有資産に係る停止条件付定期建物等賃貸借契約書兼建物等管理業務委託契約における賃貸条件を前提として算出されています。

なお、当期について、2022年1月7日付で譲渡契約を締結した「大江戸温泉物語 長崎ホテル清風」に関しては譲渡価格としています。

なお、賃貸等不動産に関する損益は、前記「損益計算書に関する注記」に記載のとおりです。

[収益認識に関する注記]

当期（自 2021年6月1日 至 2021年11月30日）

対象となる収益がないため、記載を省略しています。

[セグメント情報等に関する注記]

1. セグメント情報

本投資法人は、不動産賃貸事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

2. 関連情報

前期（自 2020年12月1日 至 2021年5月31日）

(1) 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しています。

(2) 地域ごとの情報

① 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しています。

② 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しています。

(3) 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称	営業収益	関連するセグメント名
大江戸温泉物語ホテルズ&リゾート株式会社	994,027	不動産賃貸事業
株式会社レオマユニティー	348,709	不動産賃貸事業
大江戸温泉物語株式会社	275	不動産賃貸事業

当期（自 2021年6月1日 至 2021年11月30日）

(1) 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しています。

(2) 地域ごとの情報

① 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しています。

② 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しています。

(3) 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称	営業収益	関連するセグメント名
大江戸温泉物語ホテルズ&リゾート株式会社	994,142	不動産賃貸事業
株式会社レオマユニティー	348,709	不動産賃貸事業
大江戸温泉物語株式会社	275	不動産賃貸事業

[1口当たり情報に関する注記]

	前期	当期
	自 2020年12月 1日 至 2021年 5月31日	自 2021年 6月 1日 至 2021年11月30日
1口当たり純資産額	89,622円	89,320円
1口当たり当期純利益	1,951円	1,667円

(注1) 1口当たり当期純利益は、当期純利益を日数加重平均投資口数で除することにより算定しています。また、潜在投資口調整後1口当たり当期純利益については、潜在投資口がないため記載しておりません。

(注2) 1口当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前期	当期
	自 2020年12月 1日 至 2021年 5月31日	自 2021年 6月 1日 至 2021年11月30日
当期純利益 (千円)	459,331	392,536
普通投資主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通投資口に係る当期純利益 (千円)	459,331	392,536
期中平均投資口数 (口)	235,347	235,347

[重要な後発事象に関する注記]

資産の譲渡

本投資法人は、以下の資産を2022年1月13日付で譲渡しました。

譲渡資産の名称	大江戸温泉物語 長崎ホテル清風
譲渡価格	1,640百万円
契約日	2022年1月7日
譲渡日	2022年1月13日
譲渡先	譲渡先から承諾を得られていないため非開示
損益に及ぼす影響	第12期 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日) において、不動産等売却益約11百万円を計上する予定です。

(10) 発行済投資口の総口数の増減

当期末 (2021年11月30日) までの5年間における出資総額及び発行済投資口の総口数の増減は以下のとおりです。

年月日	摘要	出資総額 (千円)		発行済投資口の総口数 (口)		備考
		増減	残高	増減	残高	
2017年12月 1日	公募増資	4,667,053	20,419,629	56,330	232,530	(注1)
2017年12月26日	第三者割当増資	233,394	20,653,023	2,817	235,347	(注2)

(注1) 1口当たり発行価格85,937円 (発行価額82,852円) にて、新規物件の取得資金の調達等を目的として公募により新投資口を発行しました。

(注2) 1口当たり発行価額82,852円にて、借入金の返済又は将来の特定資産の取得資金及び取得に関連する諸費用の一部に充当することを目的として、野村証券株式会社を割当先とする第三者割当により新投資口を発行しました。

(注3) 一時差異等調整引当額に係る利益超過分配の実施に伴う出資総額の変動は考慮していません。

3. 参考情報

(1) 運用資産等の価格に関する情報

①投資状況

本投資法人の2021年11月30日現在における投資状況の概要は以下のとおりです。

資産の種類	用途等	地域等	第10期 2021年5月31日現在		第11期 2021年11月30日現在	
			保有総額 (百万円)	資産総額に 対する比率 (%)	保有総額 (百万円)	資産総額に 対する比率 (%)
不動産	温泉・温浴 関連施設	東海	10,423	28.1	10,295	27.9
		四国	9,578	25.8	9,523	25.8
		関東	6,869	18.5	6,777	18.4
		東北	2,174	5.9	2,157	5.8
		近畿	2,105	5.7	2,116	5.7
		北陸	1,844	5.0	1,824	4.9
		九州	1,609	4.3	1,603	4.3
不動産 小計			34,605	93.2	34,299	92.9
預金・その他の資産			2,517	6.8	2,626	7.1
資産総額 計			37,122	100.0	36,926	100.0
負債総額			16,030	43.2	15,904	43.1
純資産総額			21,092	56.8	21,021	56.9

(注1) 地域等は都道府県を北海道・東北・関東・甲信越・東海・北陸・近畿・四国・九州に区分し、それぞれのエリアに所在する施設を集計しています。

(注2) 保有総額は貸借対照表計上額（不動産については減価償却後の帳簿価額）を、百万円未満を切り捨てて記載しています。
なお、不動産の帳簿価額には借地権を含みます。

(注3) 資産総額に対する比率は小数第2位を四捨五入して記載しています。

②投資資産

a. 投資有価証券の主要銘柄

該当事項はありません。

b. 投資不動産物件

本投資法人が2021年11月30日現在保有する不動産等の概要は以下のとおりです。

(a) 取得価格、貸借対照表計上額、期末算定価額及び投資比率等

物件番号 (注1)	物件名称	取得価格 (百万円) (注2)	貸借対照表 計上額 (百万円) (注3)	期末算定 価額 (百万円) (注4)	投資 比率 (%) (注5)	鑑定評価機関	担保設定
S-1	大江戸温泉物語 レオマリゾート	9,756	9,523	8,800	27.0	株式会社立地評価研究所	有
S-2	大江戸温泉物語 伊勢志摩	3,656	3,255	3,830	10.1	一般財団法人日本不動産研究所	有
S-3	伊東 ホテルニュー岡部	2,657	2,539	2,800	7.4	株式会社立地評価研究所	有
S-4	大江戸温泉物語 あたま	2,997	2,743	3,180	8.3	株式会社立地評価研究所	有
S-5	大江戸温泉物語 土肥マリンホテル	1,910	1,756	2,010	5.3	株式会社立地評価研究所	有
S-6	大江戸温泉物語 あわら	1,901	1,824	1,980	5.3	株式会社立地評価研究所	有
S-7	大江戸温泉物語 かもしか荘	1,222	1,163	1,260	3.4	一般財団法人日本不動産研究所	有
S-8	大江戸温泉物語 伊香保	1,299	1,250	1,370	3.6	株式会社立地評価研究所	有
S-9	大江戸温泉物語 君津の森	819	825	859	2.3	一般財団法人日本不動産研究所	有
S-10	大江戸温泉物語 長崎ホテル清風	1,637	1,603	2,570	4.5	一般財団法人日本不動産研究所	有
S-11	大江戸温泉物語 幸雲閣	1,040	997	1,220	2.9	一般財団法人日本不動産研究所	有
S-12	鬼怒川観光ホテル	3,870	3,537	6,130	10.7	一般財団法人日本不動産研究所	有
S-13	大江戸温泉物語 きのさき	2,084	2,116	2,650	5.8	一般財団法人日本不動産研究所	有
S-14	大江戸温泉物語 東山グランドホテル	1,230	1,160	1,470	3.4	一般財団法人日本不動産研究所	有
合計		36,082	34,299	40,129	100.0	—	—

(注1) 「物件番号」は、本投資法人が投資対象とする資産の用途の別に従い、「温泉・温浴関連施設」及び「その他用途施設」の2つに分類し、用途ごとに符号及び番号を付したものです。「温泉・温浴関連施設」は「S」の符号を付しています。以下同じです。

(注2) 「取得価格」は、各不動産に係る売買契約に記載された各不動産の売買代金（消費税及び地方消費税並びに売買手数料等の諸費用を含みません。）を、百万円未満を切り捨てて記載しています。ただし、「大江戸温泉物語 レオマリゾート」については、注6をご参照下さい。したがって、各物件欄に記載の取得価格の合計が合計欄に記載の数値と一致しない場合があります。

(注3) 「貸借対照表計上額」は、建物附属設備、構築物、機械及び装置、工具、器具及び備品並びに借地権を含み、百万円未満を切り捨てて記載しています。したがって、各物件欄に記載の貸借対照表計上額の合計が合計欄に記載の数値と一致しない場合があります。

(注4) 各物件の鑑定評価については、株式会社立地評価研究所又は一般財団法人日本不動産研究所に委託しており、「期末算定価額」には、2021年11月30日を価格時点とする各不動産鑑定評価書に記載された鑑定評価額を記載しています。なお、「期末算定価額」は、百万円未満を切り捨てて記載しています。したがって、各物件欄に記載の期末算定価額の合計が合計欄に記載の数値と一致しない場合があります。

(注5) 「投資比率」は、取得価格の合計に占める各物件の取得価格の割合を示しており、小数第2位を四捨五入して記載しています。

(注6) 「大江戸温泉物語 レオマリゾート」については、2020年11月2日付で土地の一部を譲渡すると同時に譲渡先から譲渡部分を賃借しているため、「取得価格」については、取得時点における同物件に係る売買契約に記載された各不動産の売買代金（消費税及び地方消費税並びに売買手数料等の諸費用を含みません。）から譲渡時点における当該譲渡部分に係る帳簿価格相当額を控除し、譲渡部分の賃借権の設定に係る賃貸借契約に記載された、賃借権の設定の対価としての権利金の額を加えた額を記載しています。

(b) 所在地、面積、規模等

物件番号	物件名称	所在地	土地面積 (㎡) (注1)	延床面積 (㎡) (注2)	建築時期 (注3)	年間固定 賃料 (百万円) (注4)	賃貸可能 面積 (㎡) (注5)	賃貸 面積 (㎡) (注6)	稼働率 (%) (注7)	テナント 数 (注8)	客室数 (室) (注9)
S-1	大江戸温泉物語 レオマリゾート (注10) (注11)	香川県 丸亀市	665,403.01 (注12)	<ホテルレ オマの森> 23,322.42 <ニューレオ マワールド> 40,573.63	<ホテルレオ マの森> 1991年 7月10日 <ニューレオ マワールド> 1991年 3月30日	<借家契約> 629 <借地契約> -	<ホテルレオ マの森> 23,322.42 <ニューレオ マワールド> 40,573.63	<ホテルレオ マの森> 23,322.42 <ニューレオ マワールド> 40,573.63	100.0	1	241
S-2	大江戸温泉物語 伊勢志摩	三重県 志摩市	9,637.99	9,782.37	本館： 1973年 2月13日 北館： 1979年 2月28日 南館： 1984年 8月16日	216	9,782.37	9,782.37	100.0	1	83
S-3	伊東 ホテルニュー岡部	静岡県 伊東市	2,945.87	10,211.46	1990年 11月8日	147	10,211.46	10,211.46	100.0	1	73 (注13)
S-4	大江戸温泉物語 あたま	静岡県 熱海市	2,053.32	8,469.22	1959年 2月27日	187	8,469.22	8,469.22	100.0	1	76
S-5	大江戸温泉物語 土肥マリンホテル	静岡県 伊豆市	2,911.13	6,125.84	1974年 10月4日	109	6,125.84	6,125.84	100.0	1	64
S-6	大江戸温泉物語 あわら	福井県 あわら 市	13,263.72 (注14)	14,132.27	みやこ亭： 1984年 9月23日 南館： 1972年 10月5日 東館： 1980年 10月25日	131	14,132.27	14,132.27	100.0	1	95
S-7	大江戸温泉物語 かもしか荘	栃木県 那須塩 原市	7,734.61	5,947.80	1996年 2月29日	71	5,947.80	5,947.80	100.0	1	60
S-8	大江戸温泉物語 伊香保	群馬県 渋川市	6,805.12	5,177.18	1983年 11月1日	73	5,177.18	5,177.18	100.0	1	40
S-9	大江戸温泉物語 君津の森	千葉県 君津市	57,069.38	8,660.20	1996年 3月21日	49	8,660.20	8,660.20	100.0	1	41
S-10	大江戸温泉物語 長崎ホテル清風	長崎県 長崎市	6,766.87	11,114.69	1982年 6月30日	149	11,114.69	11,114.69	100.0	1	100
S-11	大江戸温泉物語 幸雲閣	宮城県 大崎市	11,829.25 (注15)	10,843.89	1965年 12月8日	84	10,843.89	10,843.89	100.0	1	98 (注16)
S-12	鬼怒川観光ホテル	栃木県 日光市	6,719.48	22,402.38	1981年 8月21日	348	22,402.38	22,402.38	100.0	1	172
S-13	大江戸温泉物語 きのさき	兵庫県 豊岡市	11,350.80	10,602.89 (注17)	1968年 10月28日	157	10,602.89 (注16)	10,602.89 (注16)	100.0	1	103
S-14	大江戸温泉物語 東山グランド ホテル	福島県 会津若 松市	12,451.81 (注18)	16,665.71 (注19)	1964年 9月29日	103	16,602.03	16,602.03	100.0	1	123
合計			816,942.36	204,031.95	-	2,459	203,968.27	203,968.27	100.0	2	1,369

(注1)「土地面積」は、不動産登記簿上表示されている地積を記載しています。なお、「大江戸温泉物語 長崎ホテル清風」の土地面積は、令和3年8月20日及び令和3年10月1日付国土調査による成果により、地積が変更されています。

(注2)「延床面積」は、不動産登記簿上表示されている床面積の合計を記載しています。なお、附属建物の面積も含まれます。

(注3)「建築時期」は、不動産登記簿上の主たる建物の新築年月日を記載しています。

(注4) 上記各物件の賃料は、2021年11月30日現在において締結されている賃貸借契約に基づき、固定賃料及び変動賃料により構成されますが、

「年間固定賃料」欄には、当該賃貸借契約に定める固定賃料を12倍して年換算した金額を、百万円未満を切り捨てて記載しています。したがって、各物件欄に記載の年間固定賃料の合計が合計欄の数値と一致しない場合があります。また、変動賃料は、テナントの旅館、ホテルその他の宿泊の用に供され、又は供されることが可能な施設、並びに、温浴施設、リゾート施設及びアミューズメントパークその他の余暇活用型施設の修正後GOPに賃貸借契約で定める一定の料率を乗じて算出されます。ただし、旅館、ホテルその他の宿泊の用に供され、又は供されることが可能な施設、並びに、温浴施設、リゾート施設及びアミューズメントパークその他の余暇活用型施設の修正後GOPが一定金額を上回る場合に、変動賃料が発生します。以下同じです。

- (注5) 「賃貸可能面積」は、2021年11月30日現在における各保有資産に係る停止条件付定期建物等賃貸借契約書兼建物等管理業務委託契約書又は建物図面等に基づき賃貸が可能と考えられる部分の面積を記載しています。以下同じです。
- (注6) 「賃貸面積」は、2021年11月30日現在における各保有資産に係る停止条件付定期建物等賃貸借契約書兼建物等管理業務委託契約書に表示された賃貸面積の合計を記載しています。以下同じです。
- (注7) 「稼働率」は、2021年11月30日現在の稼働率（賃貸可能面積に対して賃貸面積が占める割合）を、小数第2位を四捨五入して記載しています。
- (注8) 「テナント数」の合計は、各物件で共通するテナントについては名寄せを行い算出しています。
- (注9) 「客室数」は、2021年11月30日現在、宿泊用途として使用可能な客室の数を記載しています。以下同じです。
- (注10) 「大江戸温泉物語 レオマリゾート」は、「ホテルレオマの森」及び「ニューレオマワールド」から構成された一体の施設です。以下同じです。
- (注11) 「大江戸温泉物語 レオマリゾート」については、2021年11月30日現在において効力を有する賃貸借契約は、当該施設の建物に関するものと土地の一部（71,790.51㎡（内、35,614.26㎡を第三者から賃借しています。））に関するものがあり、「賃貸可能面積」欄及び「賃貸面積」欄には、そのうち当該建物に関する賃貸可能面積及び賃貸面積のみを記載しています。なお、当該土地には閉鎖された動物園の施設が存在しており、本物件のテナント（株式会社レオマユニティ）は、当該土地において、テナントの負担と責任において動物を飼育、管理していますが、本投資法人は、当該土地を保有する上で必要となる費用相当額で、当該土地をテナントに賃貸していません。
- (注12) 本投資法人は、当該土地の一部（面積：196,542.20㎡）を第三者（国内の法人）から賃借しています。
- (注13) 本物件（相模亭）は、保有資産ではない駿河亭と渡り廊下で連結しており、本物件（相模亭）と駿河亭は一体的な運営がなされています。駿河亭を含めた本物件の客室数は合計109室です。以下同じです。
- (注14) 本投資法人は、当該土地の一部（5,641.90㎡）を第三者（複数名の個人）から賃借しています。
- (注15) 本投資法人は、当該土地の一部（面積：498.62㎡）を第三者（国）から賃借しています。
- (注16) 保有資産ではない別館を含めた本物件の客室数は合計116室です。
- (注17) 本土地上に存在する濾過機設備庫、LPガス庫、ゴミ置場及び自家発電機庫の床面積を含みません。
- (注18) 本投資法人は、当該土地の一部（面積：70.29㎡）を借地権設定者である大江戸温泉物語株式会社から賃借しています。
- (注19) 本投資法人は、当該建物の一部（床面積：63.68㎡）を借家権設定者である大江戸温泉物語株式会社から賃借しています。

(c) 不動産鑑定評価書の概要

物件番号	物件名称	鑑定評価機関	鑑定評価額 (百万円) (注1)	収益価格					鑑定NOI (百万円) (注2)
				直接還元法 による価格 (百万円)	還元 利回り (%)	DCF法 による価格 (百万円)	割引率 (%)	最終還元 利回り (%)	
S-1	大江戸温泉物語 レオマリゾート	株式会社 立地評価研究所	8,800	8,970	6.0	8,730	5.8	6.2	687
S-2	大江戸温泉物語 伊勢志摩	一般財団法人 日本不動産研究所	3,830	3,880	5.6	3,780	5.4	5.8	228
S-3	伊東 ホテルニュー岡部 (注3)	株式会社 立地評価研究所	2,800	2,860	5.1	2,770	4.9	5.3	163
S-4	大江戸温泉物語 あたま	株式会社 立地評価研究所	3,180	3,250	5.1	3,150	4.9	5.3	201
S-5	大江戸温泉物語 土肥マリンホテル	株式会社 立地評価研究所	2,010	2,050	5.6	1,990	5.4	5.8	121
S-6	大江戸温泉物語 あώρα	株式会社 立地評価研究所	1,980	2,010	5.9	1,960	5.7	6.1	138
S-7	大江戸温泉物語 かもしか荘	一般財団法人 日本不動産研究所	1,260	1,280	5.3	1,230	5.1	5.5	79
S-8	大江戸温泉物語 伊香保	株式会社 立地評価研究所	1,370	1,400	5.3	1,360	5.1	5.5	81
S-9	大江戸温泉物語 君津の森	一般財団法人 日本不動産研究所	859	873	5.3	845	5.1	5.5	53
S-10	大江戸温泉物語 長崎ホテル清風	一般財団法人 日本不動産研究所	2,570	2,600	5.2	2,530	5.0	5.4	155
S-11	大江戸温泉物語 幸雲閣	一般財団法人 日本不動産研究所	1,220	1,240	5.5	1,190	5.3	5.7	90
S-12	鬼怒川観光ホテル	一般財団法人 日本不動産研究所	6,130	6,210	5.2	6,050	5.0	5.4	359
S-13	大江戸温泉物語 きのさき	一般財団法人 日本不動産研究所	2,650	2,680	5.4	2,610	5.2	5.6	166
S-14	大江戸温泉物語 東山グランドホテル	一般財団法人 日本不動産研究所	1,470	1,490	5.9	1,450	5.7	6.1	113
合計			40,129	40,793	—	39,645	—	—	2,640

(注1) 各物件の鑑定評価については、株式会社立地評価研究所又は一般財団法人日本不動産研究所に委託しており、「鑑定評価額」には、株式会社立地評価研究所又は一般財団法人日本不動産研究所作成の2021年11月30日を価格時点とする各不動産鑑定評価書に記載された鑑定評価額を記載しています。なお、「鑑定評価額」は、百万円未満を切り捨てて記載しています。したがって、各物件欄に記載の鑑定評価額の合計が合計欄に記載の数値と一致しない場合があります。

(注2) 「鑑定NOI」とは、鑑定評価書に記載された運営収益から運営費用を控除した運営純収益 (Net Operating Income) をいい、減価償却費を控除する前の収益です。NOIから敷金等の運用益や資本的支出を控除したNCF (純収益、Net Cash Flow) とは異なります。上記NOIは直接還元法によるNOIです。なお、「鑑定NOI」は、百万円未満を切り捨てて記載しています。したがって、各物件欄に記載の鑑定NOIの合計が合計欄に記載の数値と一致しない場合があります。

(注3) 本物件 (相模亭) は、保有資産ではない駿河亭と渡り廊下で連結しており、本物件 (相模亭) と駿河亭は一体的な運営がなされています。表中の各数値は本物件 (相模亭) に関する数値のみを記載しています。

(d) 主要な不動産に関する情報

物件名称	テナントの 総数	年間固定賃料 (百万円)	賃貸面積 (㎡)	賃貸可能面積 (㎡)	稼働率 (%)
大江戸温泉物語 レオマリゾート (注2)	1	629	63,896.05	63,896.05	100.0
鬼怒川観光ホテル	1	348	22,402.38	22,402.38	100.0

(注1) 上記表は、2021年11月30日現在において効力を有する各保有資産に係る賃貸借契約に基づいて作成しています。

(注2) 「大江戸温泉物語 レオマリゾート」については、2021年11月30日現在において効力を有する賃貸借契約は、当該施設の建物に関するものと土地の一部（71,790.51㎡（内、35,614.26㎡を第三者から賃借しています。））に関するものがあり、「賃貸可能面積」欄及び「賃貸面積」欄には、そのうち当該建物に関する賃貸可能面積及び賃貸面積のみを記載しています。なお、当該土地には閉鎖された動物園の施設が存在しており、本物件のテナント（株式会社レオマユニティー）は、当該土地において、テナントの負担と責任において動物を飼育、管理していますが、本投資法人は、当該土地を保有する上で必要となる費用相当額で、当該土地をテナントに賃貸しています。

(e) 主要なテナントへの賃貸借の状況

No	テナント名称	業種	物件名称	契約期間満了日	契約更改の方法	敷金・保証金 (百万円)	年間固定賃料 (注1)		賃貸面積	
							(百万円)	比率 (%)	(㎡)	比率 (%)
1	大江戸温泉物語 ホテルズ&リゾート株式会社	旅館及びホテルの運営 温泉利用施設、テーマパーク及び演芸場の運営等	大江戸温泉物語 伊勢志摩	2036年 8月31日	該当事項は ありません	108	216	8.8	9,782.37	3.5
			伊東 ホテルニュー岡部	2036年 8月31日	該当事項は ありません	73	147	6.0	10,211.46	3.7
			大江戸温泉物語 あたみ	2036年 8月31日	該当事項は ありません	93	187	7.6	8,469.22	3.1
			大江戸温泉物語 土肥マリンホテル	2036年 8月31日	該当事項は ありません	54	109	4.4	6,125.84	2.2
			大江戸温泉物語 あわら	2036年 8月31日	該当事項は ありません	65	131	5.3	14,132.27	5.1
			大江戸温泉物語 かもしか荘	2036年 8月31日	該当事項は ありません	35	71	2.9	5,947.80	2.2
			大江戸温泉物語 伊香保	2036年 8月31日	該当事項は ありません	36	73	3.0	5,177.18	1.9
			大江戸温泉物語 君津の森	2036年 8月31日	該当事項は ありません	24	49	2.0	8,660.20	3.1
			大江戸温泉物語 長崎ホテル清風	2037年 12月3日	該当事項は ありません	74	149	6.1	11,114.69	4.0
			大江戸温泉物語 幸雲閣	2037年 12月3日	該当事項は ありません	42	84	3.4	10,843.89	3.9
			鬼怒川観光ホテル	2037年 12月3日	該当事項は ありません	174	348	14.2	22,402.38	8.1
			大江戸温泉物語 きのさき	2037年 12月3日	該当事項は ありません	78	157	6.4	10,602.89 (注2)	3.8
			大江戸温泉物語 東山グランド ホテル	2037年 12月3日	該当事項は ありません	51	103	4.2	16,602.03	6.0
2	株式会社 レオマユニティー	遊園地、ホテル、旅館等観光施設の経営等	大江戸温泉物語 レオマリゾート (注3)	2036年 8月31日	該当事項は ありません	314	629	25.6	<ホテルレオ マの森> 23,322.42	8.5
			大江戸温泉物語 レオマリゾート (注4)	2066年 8月31日	該当事項は ありません	0	-	-	<ニューレオ マワールド> 40,573.63	14.7
									71,790.51	26.0
合計						1,230	2,459	100.0	275,758.78	100.0

(注1) 上記各物件の賃料は、2021年11月30日現在において締結されている賃貸借契約に基づき、固定賃料及び変動賃料により構成されますが、「年間固定賃料」欄には、当該賃貸借契約に定める固定賃料を12倍して年換算した金額を、百万円未満を切り捨てて記載しています。また、「比率」欄には、ポートフォリオ全体の年間固定賃料の合計額に対する、各施設の年間固定賃料の占める割合を、小数第2位を四捨五入して記載しています。したがって、各物件欄に記載の年間固定賃料の合計又は比率の合計が合計欄の数値と一致しない場合があります。また、変動賃料は、テナントの旅館、ホテルその他の宿泊の用に供され、又は供されることが可能な施設、並びに、温浴施設、リゾート施設及びアミューズメントパークその他の余暇活用型施設の修正後GOPに賃貸借契約で定める一定の料率を乗じて算出されます。ただし、旅館、ホテルその他の宿泊の用に供され、又は供されることが可能な施設、並びに、温浴施設、リゾート施設及びアミューズメントパークその他の余暇活用型施設の修正後GOPが一定金額を上回る場合に、変動賃料が発生します。変動賃料については、前記6ページ「2022年5月期及び2022年11月期の運用状況の見通しの前提条件」をご参照下さい。

(注2) 本土地上に存在する濾過機設備庫、LPガス庫、ゴミ置場及び自家発電機庫の床面積を含みません。

(注3) 「大江戸温泉物語 レオマリゾート」について、2021年11月30日現在において効力を有する賃貸借契約は、当該施設の建物に関するものと土地の一部(71,790.51㎡(内、35,614.26㎡を第三者から賃借しています。))に関するものがあり、そのうち当該建物に関する賃貸借契約の内容を記載しています。

(注4) 「大江戸温泉物語 レオマリゾート」について、2021年11月30日現在において効力を有する賃貸借契約は、当該施設の建物に関するものと土地の一部(71,790.51㎡(内、35,614.26㎡を第三者から賃借しています。))に関するものがあり、そのうち当該土地の一部に係る賃貸借契約の内容を記載しています。なお、当該土地には閉鎖された動物園の施設が存在しており、本物件のテナント(株式会社レオマユニティー)は、当該土地において、テナントの負担と責任において動物を飼育、管理していますが、本投資法人は、当該土地を保有する上で必要となる費用相当額で、当該土地をテナントに賃貸しています。また、動物が当該土地から完全に撤去されたことを確認できた場合には、契約期間満了前であっても本契約は終了するものとされています。

(f) ポートフォリオの概況

i. 用途別

用途	物件数	取得価格(百万円) (注1)	比率(%)
温泉・温浴関連施設	14	36,082	100.0
その他用途施設	—	—	—
合計	14	36,082	100.0

ii. 賃貸期間別

賃貸借期間	契約年数		残存年数	
	年間固定賃料 (百万円) (注2)	比率 (%)	年間固定賃料 (百万円)	比率 (%)
10年超	2,459	100.0	2,459	100.0
10年以内	—	—	—	—
合計	2,459	100.0	2,459	100.0

iii. 契約形態別

契約形態	年間固定賃料(百万円) (注2)	比率(%)
定期賃貸借契約	2,459	100.0
普通賃貸借契約	—	—
合計	2,459	100.0

(注1) 「取得価格」は、各不動産に係る売買契約に記載された各不動産の売買代金(消費税及び地方消費税並びに売買手数料等の諸費用を含みません。)を、百万円未満を切り捨てて記載しています。ただし、「大江戸温泉物語 レオマリゾート」については、2020年11月2日付で土地の一部を譲渡すると同時に譲渡先から譲渡部分を賃借しているため、「取得価格」については、取得時点における同物件に係る売買契約に記載された各不動産の売買代金(消費税及び地方消費税並びに売買手数料等の諸費用を含みません。)から譲渡時点における当該譲渡部分に係る帳簿価格相当額を控除し、譲渡部分の賃借権の設定に係る賃貸借契約に記載された、賃借権の設定の対価としての権利金の額を加えた額を記載しています。

(注2) 賃料は、固定賃料及び変動賃料により構成されており、「年間固定賃料」欄には、当該賃貸借契約に定める固定賃料を12倍して年換算した金額を、百万円未満を切り捨てて記載しています。

(g) 個別投資不動産等物件の収支状況

投資不動産等物件の当期における個別の収支状況は以下のとおりです。

(単位：千円)

物件名	大江戸温泉物語 レオマリゾート	大江戸温泉物語 伊勢志摩	伊東ホテル ニュー岡部	大江戸温泉物語 あたま	大江戸温泉物語 土肥マリンホテル
運用日数	183	183	183	183	183
① 賃貸事業収入	348,709	111,631	82,764	97,784	56,365
第一賃料	314,741	108,056	73,780	93,716	54,589
固定賃料	314,741	108,056	73,780	93,716	54,589
変動賃料	—	—	—	—	—
第二賃料	33,465	3,575	8,933	4,045	1,776
その他賃貸事業収入	502 (注2)	—	50	22	—
② 賃貸事業費用	34,096	4,398	9,670	4,562	2,293
管理委託費	2,000	1,000	1,000	1,000	1,000
公租公課	29,782	2,950	8,011	3,100	946
損害保険料	2,313	446	624	438	296
その他費用	0	1	35	24	50
③ 賃貸NOI (=①-②)	314,612	107,233	73,093	93,221	54,072
④ 減価償却費	90,128	53,055	28,423	33,677	30,979
不動産賃貸事業利益 (=③-④)	224,484	54,177	44,669	59,544	23,093

(単位：千円)

物件名	大江戸温泉物語 あわら	大江戸温泉物語 かもしか荘	大江戸温泉物語 伊香保	大江戸温泉物語 君津の森	大江戸温泉物語 長崎ホテル清風
運用日数	183	183	183	183	183
① 賃貸事業収入	74,711	41,747	40,836	29,849	81,661
第一賃料	65,778	35,723	36,759	24,590	74,979
固定賃料	65,778	35,723	36,759	24,590	74,979
変動賃料	—	—	—	—	—
第二賃料	8,933	6,024	4,077	5,258	6,440
その他賃貸事業収入	—	—	—	—	242
② 賃貸事業費用	9,257	6,906	4,926	6,199	7,172
管理委託費	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
公租公課	4,762	5,192	3,674	4,848	5,600
損害保険料	719	307	247	351	394
その他費用	2,775	406	4	—	177
③ 賃貸NOI (=①-②)	65,454	34,841	35,910	23,649	74,489
④ 減価償却費	22,211	13,763	13,716	9,053	21,226
不動産賃貸事業利益 (=③-④)	43,242	21,078	22,193	14,595	53,262

(単位：千円)

物件名	大江戸温泉物語 幸雲閣	鬼怒川観光ホテル	大江戸温泉物語 きのさき	大江戸温泉物語 東山グランドホテル	全体合計
運用日数	183	183	183	183	183
① 賃貸事業収入	47,028	182,520	85,885	62,562	1,344,058
第一賃料	42,103	174,418	78,887	51,790	1,229,915
固定賃料	42,103	174,418	78,887	51,790	1,229,915
変動賃料	—	—	—	—	—
第二賃料	4,925	8,102	6,379	10,496	112,434
その他賃貸事業収入	—	—	617	275	1,709
② 賃貸事業費用	5,554	9,677	6,130	10,901	121,746
管理委託費	1,000	1,000	1,000	1,000	15,000
公租公課	4,094	6,730	4,540	9,228	93,457
損害保険料	364	822	370	548	8,246
その他費用	95	1,125	220	125	5,043
③ 賃貸NOI (=①-②)	41,474	172,843	79,755	51,660	1,222,312
④ 減価償却費	22,495	63,840	21,662	28,053	452,288
不動産賃貸事業利益 (=③-④)	18,979	109,002	58,092	23,606	770,023

(注1) 金額については、千円未満を切り捨てて記載しています。

(注2) 「大江戸温泉物語 レオマリゾート」については、テナントとの間で定期借地契約が締結されており、当該定期借地契約に基づく土地賃料を受領しています。前期まで当該土地賃料を固定賃料に含めて記載していましたが、当期よりその他賃貸事業収入に記載しています。

(h) 個別投資不動産等の運営実績

以下に記載の情報は、賃借人による運営実績を記載しています。

大江戸温泉物語 レオマリゾート

運営実績 (ホテルレオマの森)													
	2020年	2021年											累計
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
客室稼働率	53.4%	7.5%	3.5%	19.9%	23.5%	17.3%	11.7%	37.7%	49.1%	23.0%	41.9%	63.0%	29.5%
ADR(円)	35,685	39,192	19,198	36,909	27,801	32,938	24,594	38,685	48,447	25,664	25,111	27,422	33,428
RevPAR(円)	19,055	2,939	671	7,344	6,533	5,698	2,877	14,584	23,787	5,902	10,521	17,275	9,861
売上高(百万円)	166	27	4	64	59	51	26	129	210	53	98	154	1,047

運営実績 (ニューレオマワールド)													
	2020年	2021年											累計
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
入場者数(人)	42,079	8,609	2,073	27,656	17,952	15,771	15,636	36,124	37,968	16,138	45,293	73,030	338,329
売上高(百万円)	144	30	7	99	64	54	50	151	174	58	172	274	1,283

(注)「入場者数」とは、当該期間中に「ニューレオマワールド」を利用した延べ人数をいいます。

大江戸温泉物語 伊勢志摩

運営実績													
	2020年	2021年											累計
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
客室稼働率	72.5%	41.7%	8.0%	48.4%	57.1%	47.2%	52.0%	67.5%	58.5%	45.7%	66.7%	88.4%	54.8%
ADR(円)	36,777	31,510	24,826	34,219	26,538	26,126	19,426	29,601	45,036	24,287	24,804	29,245	30,004
RevPAR(円)	26,663	13,139	1,986	16,561	15,153	12,331	10,101	19,980	26,346	11,099	16,544	25,852	16,442
売上高(百万円)	78	38	5	48	43	36	29	57	75	31	49	74	570

伊東ホテルニュー岡部

運営実績													
	2020年	2021年											累計
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
客室稼働率	56.9%	14.3%	-	26.3%	38.7%	39.1%	45.0%	40.9%	50.2%	36.2%	49.1%	69.4%	39.1%
ADR(円)	33,553	32,246	-	31,011	23,362	24,530	17,950	26,229	34,060	19,928	22,176	24,766	26,162
RevPAR(円)	19,091	4,611	-	8,155	9,041	9,591	8,077	10,727	17,098	7,213	10,888	17,187	10,229
売上高(百万円)	71	17	0	30	33	35	29	40	62	26	41	64	454

(注) 保有資産ではない駿河亭を含めた運営実績を記載しています。

大江戸温泉物語 あたみ

運営実績													
	2020年	2021年											累計
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
客室稼働率	62.0%	31.2%	-	67.6%	53.2%	48.6%	61.7%	49.2%	59.2%	52.7%	62.0%	86.2%	53.1%
ADR(円)	35,840	27,686	-	30,824	26,285	26,877	19,588	25,776	31,345	22,804	24,625	27,940	27,410
RevPAR(円)	22,220	8,638	-	20,837	13,983	13,062	12,085	12,681	18,556	12,017	15,267	24,084	14,554
売上高(百万円)	59	23	0	53	36	34	31	33	48	29	41	61	455

大江戸温泉物語 土肥マリンホテル

運営実績													
	2020年		2021年										累計
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
客室稼働率	56.0%	14.6%	-	24.2%	39.9%	38.2%	44.6%	54.8%	60.8%	37.5%	48.3%	71.4%	41.1%
ADR(円)	32,233	30,984	-	30,328	24,892	26,149	16,940	32,146	46,920	20,878	22,188	24,346	28,524
RevPAR(円)	18,050	4,523	-	7,339	9,931	9,988	7,555	17,616	28,527	7,829	10,716	17,383	11,723
売上高(百万円)	40	10	0	15	21	21	16	38	60	16	23	37	301

大江戸温泉物語 あわら

運営実績													
	2020年		2021年										累計
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
客室稼働率	53.2%	13.2%	-	30.2%	45.9%	31.1%	37.0%	54.2%	69.8%	47.9%	67.4%	81.7%	44.6%
ADR(円)	30,671	29,536	-	27,318	22,862	25,901	19,852	28,342	37,036	20,918	22,717	27,289	26,981
RevPAR(円)	16,316	3,898	-	8,250	10,493	8,055	7,345	15,361	25,851	10,019	15,311	22,295	12,033
売上高(百万円)	54	13	0	26	33	26	24	50	84	32	50	71	466

大江戸温泉物語 かもしか荘

運営実績													
	2020年		2021年										累計
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
客室稼働率	32.0%	7.8%	-	24.8%	32.8%	30.8%	40.2%	52.1%	59.7%	34.1%	65.9%	90.4%	39.4%
ADR(円)	25,998	27,342	-	25,971	22,520	29,443	19,621	25,730	33,001	23,654	24,519	25,188	25,816
RevPAR(円)	8,319	2,132	-	6,440	7,386	9,068	7,887	13,405	19,701	8,066	16,158	22,769	10,171
売上高(百万円)	17	4	0	13	15	18	15	27	39	16	33	46	248

大江戸温泉物語 伊香保

運営実績													
	2020年		2021年										累計
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
客室稼働率	49.0%	21.3%	-	28.1%	73.8%	62.6%	68.3%	70.6%	68.4%	69.9%	89.4%	94.3%	58.2%
ADR(円)	34,836	22,246	-	33,407	24,499	24,747	20,123	24,605	32,260	23,489	26,817	30,735	26,950
RevPAR(円)	17,069	4,738	-	9,387	18,080	15,491	13,744	17,371	22,065	16,418	23,974	28,983	15,684
売上高(百万円)	23	6	0	12	25	21	18	24	29	21	33	39	258

大江戸温泉物語 君津の森

運営実績													
	2020年		2021年										累計
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
客室稼働率	74.9%	24.9%	-	39.2%	64.6%	55.1%	63.2%	73.7%	74.4%	59.3%	71.1%	82.9%	57.3%
ADR(円)	29,301	30,376	-	27,116	22,835	25,698	19,105	24,555	34,299	21,376	22,172	22,864	25,237
RevPAR(円)	21,946	7,563	-	10,629	14,751	14,159	12,074	18,097	25,518	12,675	15,764	18,954	14,460
売上高(百万円)	33	12	0	16	23	24	19	28	39	20	27	31	279

大江戸温泉物語 長崎ホテル清風

運営実績													
	2020年	2021年											累計
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
客室稼働率	73.3%	17.5%	-	37.8%	44.3%	23.2%	19.5%	49.6%	39.3%	27.0%	65.4%	92.3%	41.0%
ADR(円)	35,344	31,463	-	32,547	29,088	27,544	20,265	29,972	31,917	21,528	28,757	31,622	30,309
RevPAR(円)	25,907	5,506	-	12,302	12,885	6,390	3,951	14,866	12,543	5,812	18,807	29,187	12,426
売上高(百万円)	87	18	0	40	42	22	13	51	42	19	64	95	498

大江戸温泉物語 幸雲閣

運営実績													
	2020年	2021年											累計
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
客室稼働率	38.2%	9.0%	-	8.9%	-	-	18.6%	37.6%	34.6%	19.4%	47.3%	65.7%	23.4%
ADR(円)	28,660	24,746	-	21,331	-	-	18,819	21,443	25,314	18,227	23,390	24,712	23,729
RevPAR(円)	10,948	2,227	-	1,898	-	-	3,500	8,062	8,758	3,536	11,063	16,235	5,552
売上高(百万円)	44	9	0	7	0	0	13	30	34	13	44	64	262

(注) 保有資産ではない別館を含めた運営実績を記載しています。

鬼怒川観光ホテル

運営実績													
	2020年	2021年											累計
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
客室稼働率	43.5%	9.3%	-	18.2%	21.7%	28.6%	15.6%	32.6%	38.9%	30.0%	58.8%	81.6%	31.8%
ADR(円)	31,573	30,189	-	27,482	24,682	27,524	21,589	26,436	32,024	21,815	23,422	25,855	26,596
RevPAR(円)	13,734	2,807	-	5,001	5,355	7,871	3,367	8,618	12,457	6,544	13,772	21,097	8,457
売上高(百万円)	84	17	0	30	32	48	20	52	74	38	84	127	610

大江戸温泉物語 きのさき

運営実績													
	2020年	2021年											累計
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
客室稼働率	69.6%	31.2%	6.2%	65.5%	43.5%	27.9%	19.2%	58.6%	67.0%	41.1%	60.4%	92.7%	48.9%
ADR(円)	33,963	29,181	22,301	33,599	26,331	27,356	22,671	31,084	41,285	25,466	26,036	30,626	30,927
RevPAR(円)	23,638	9,104	1,382	22,007	11,453	7,632	4,352	18,215	27,660	10,466	15,725	28,390	15,123
売上高(百万円)	86	33	4	76	39	25	14	65	95	35	57	100	633

大江戸温泉物語 東山グランドホテル

運営実績													
	2020年	2021年											累計
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
客室稼働率	48.2%	12.3%	-	14.5%	29.2%	32.4%	44.1%	44.2%	49.1%	40.2%	76.3%	87.8%	40.1%
ADR(円)	32,816	33,258	-	28,787	23,647	26,269	19,013	24,030	29,379	20,936	24,306	25,273	25,559
RevPAR(円)	15,817	4,090	-	4,174	6,904	8,511	8,384	10,621	14,425	8,416	18,545	22,189	10,249
売上高(百万円)	65	17	0	16	27	33	32	43	58	32	76	88	492

(注1) 過去1年間の実績を記載しています。

(注2) 月次の主要指標については、賃借人から提供を受けた数値に基づいて記載しています。

(注3) 「客室稼働率」は、以下の計算式により求められる数値について、小数第2位を四捨五入して記載しています。

客室稼働率=対象期間中の販売客室数÷対象期間中の販売可能客室数×100 (%)

- (注4)「ADR」とは、平均客室販売単価 (Average Daily Rate) をいい、一定期間の宿泊売上高合計を同期間の販売客室数 (稼働した延べ客室数) 合計で除した値について、単位未満を切り捨てて記載しています。
- (注5)「RevPAR」とは、1日当たり販売可能客室数当たり宿泊売上高合計 (Revenue Per Available Room) をいい、一定期間の宿泊売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除した値について、単位未満を切り捨てて記載しています。なお、ADRと客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。
- (注6)「売上高」とは、賃借人が旅行宿泊施設運営事業及びその付帯事業により得た収入のことをいい、百万円未満を切り捨てて記載しています。

(2) 資本的支出の状況

①資本的支出の予定

本投資法人が2021年11月30日現在保有する資産に関し、2021年11月30日現在計画している第12期の改修工事等に伴う資本的支出の予定額のうち主要なものは以下のとおりです。なお、下記工事予定金額には、会計上の費用に区分処理される部分が含まれています。

不動産等の名称	所在地	目的	予定期間	工事予定金額 (百万円)		
				総額	当期支払額	既支払総額
大江戸温泉物語 あたま	静岡県熱海市	屋外避難階段改修工事 他	自 2022年 4月 至 2022年 5月	70	—	—
大江戸温泉物語 レオマリゾート	香川県丸亀市	高架水槽更新工事	自 2022年 4月 至 2022年 5月	59	—	—
		防火設備更新他	自 2022年 2月 至 2022年 3月	10	—	—
大江戸温泉物語 きのさき	兵庫県豊岡市	外壁改修工事	自 2022年 4月 至 2022年 5月	19	—	—
大江戸温泉物語 土肥マリンホテル	静岡県伊豆市	非常用侵入口施設他	自 2022年 2月 至 2022年 3月	10	—	—

②期中の資本的支出

本投資法人が2021年11月30日現在保有する資産に関し、当期の資本的支出に該当する工事は合計146百万円です。なお、当期に行った資本的支出に該当する主要な工事は以下のとおりです。

不動産等の名称	所在地	目的	期間	工事金額 (百万円)
大江戸温泉物語 きのさき	兵庫県豊岡市	外壁改修工事	自 2021年 4月 至 2021年 6月	19
		各階廊下空調増設工事	自 2021年10月 至 2021年11月	10
大江戸温泉物語 幸雲閣	宮城県大崎市	空調更新工事	自 2021年 5月 至 2021年 6月	12
大江戸温泉物語 長崎ホテル清風	長崎県長崎市	屋上防水工事	自 2021年 5月 至 2021年 6月	12